

フォトライフ

四季

カメラのキタムラ フォト ネットワーク

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1
☎045-476-0777
平成13年9月1日発行
季刊第38号

www.kitamura.co.jp

カメラの
キタムラ®

vol.38
AUTUMN

特集 写真家 竹内敏信氏

日本の自然環境は恵まれている。
そのことを自覚してほしい。

田中長徳氏執筆「日本のカメラよもやま話」最終回

保存版 ビデオカメラで運動会を撮ろう!

北の原生林に秋が訪れた。早朝、宿を出て山腹を登ってみる。朝の低い光に、色づいた紅葉が一層鮮やかに浮かび上がってくれた。

■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMCペンタックス645 80-160mm F4.5 絞り：f16 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：北海道上士幌町（撮影）竹内敏信氏



フォトライフ
四季

CONTENTS
Vol. 38
AUTUMN



紅葉が終わり葉が落ちて、紅い実が残された。小さい粒の実だが、一生懸命存在を主張しているようであった。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF180mm F3.5 マクロ シャッター速度：1/30 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：長野県安曇村 〈撮影〉竹内敏信氏

特集 写真家 **竹内敏信氏**

日本の自然環境は恵まれている。
そのことを自覚してほしい。

キタムラのお客様が推薦する「秋の彩」撮影ポイント 10

田中長徳氏執筆「日本のカメラよもやま話」最終回 15

第9回 全国春の花フォトコンテスト 入賞作品発表 18

保存版 ビデオカメラで運動会を撮ろう！ 21

全国写真クラブ紹介 30

三好和義写真展 26

キタムラ撮影ツアー紹介 28

インターネットプリントサービス 29

キタムラ インフォメーション 32

プレゼントが当たる！クロスワードパズル 32

次ページ (P2・3) の写真解説
東の空を見事に染めて、美しく輝いてくれる朝の光。幾層にも連なる雲の波。しばし、荘厳な雰囲気にも包まれた。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF70-200mm F2.8L シャッター速度：1/30 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：栃木県那須高原 〈撮影〉竹内敏信氏

21世紀もαではじまる。



α-7

カメラグランプリ2001受賞



ありがとうございました。皆様のご支援により、ミノルタの技術のすべてを結集し、21世紀に向けて世に送り出したα-7が、2001年度カメラグランプリを受賞いたしました。1999年のα-9のカメラグランプリ受賞に続き、今回のα-7の受賞は、写真愛好家の皆様にとって本当に使いやすいカメラを創造するというミノルタの理念が、多くの方に受け入れられたものと感謝いたします。ミノルタはこれからも映像表現へのこだわりを持ち続け、銀塩からデジタルまで21世紀をリードし、一人でも多くのお客様にご満足いただける“essential” (必要不可欠)な商品の提供に全力を注いで参ります。より一層のご愛顧を心よりお願い申し上げます。



希望小売価格(税別) α-7・AFズーム24-105mmF3.5-4.5(D)付 ¥185,000
ボディ ¥125,000 / AFズーム24-105mmF3.5-4.5(D) ¥60,000

■α-7のホームページ <http://www.minolta.co.jp/japan/camera> ■α-7のカタログ請求先(住所・氏名・年齢・機種名記入) 〒108-8608 東京都港区高輪 2-19-13 NS高輪ビル ミノルタ株式会社 宣伝課 フォトライフ四季係 ■フォトサポートセンター 営業時間 10:00~18:00 (土・日・祝日定休) 携帯電話・PHSをご使用の場合は、(土・日・祝日定休) 03-5351-9410をご利用ください。ファクス番号は 03-3356-6303です。

■お客様ご案内窓口(弊社製品に関する各種お問い合わせのご案内) ☎0120-162414 (およびご意見ご要望などをお受けする窓口です。)

市内通話料OK 市内通話料金でご利用いただけます



日本の自然環境は恵まれている。 そのことを自覚してほしい。

今年もまた「全国秋の彩フォトコンテスト」の季節がやってまいりました。毎年高水準の作品が寄せられ、上位入賞を狙うためには激戦を勝ち残らなければなりません。審査も困難を極めております。その難しい審査をお願いしている竹内敏信先生に、今年もお話をうかがうことができました。世界各地の自然風景を撮影してきた先生は「日本は世界的に見ても自然環境に恵まれている。中でも日本の秋は世界一」とおっしゃいます。ご多忙な毎日をお過ごしの方にお話を、皆様のフォトライフにとって、きっと貴重なアドバイスになることでしょう。今年の「秋の彩フォトコンテスト」に期待される点などもうかがってまいりましたので、ご参考にされたうえで、ふるってご応募ください。

※なお、表紙及び特集ページに掲載した写真は、すべて竹内先生の作品です。

特集 写真家 竹内 敏信氏



たけうち としのぶ
1943年愛知県生まれ。名城大学理工学部卒業。愛知県庁勤務を経てフリーとなり、風景写真の第一人者として活躍。主な写真集「天地光輝」「大地光輝」「以上講談社」「欧羅巴」小学館、「花祭」成文堂新光社、「光と風のヨロヅバ」安光社、「写真・山頭火」春陽堂、「櫻」山櫻堂、「櫻」以上出版芸術社、「竹内敏信集」新日本企画、「天地風韻」日本芸術出版社、「おもちゃが奏でる日本の音」共著・音楽の友社など。著書・ビデオ・CD-ROMも多数出版。

タスマニアのような自然環境は、日本でも実現できると思います。
先生は昨年よりタスマニアの作品を多く発表されているように思うのですが、今後はどのような展開を予定されているのですか？

タスマニアに関しては、写真集を出版し、新宿で150点の写真展を開きました。一つのステップは越えたように思います。タスマニアは私自身の心が安らぐ素晴らしい地域なので、何度でも行きたいですね。また、自分の理想としての未来、人類の未来がこのようであつたらいいなという思いを込めてタスマニアを撮っていますので、今後も作品を発表し続けていきたいと思いますが、次のタスマニアの作品の発表については、一泊置い

て、もう少し通ってから考えようと思っています。
先生のおっしゃるタスマニアの「未来の写真」ということについて、もう少し詳しくお話しただけですすでしょうか。

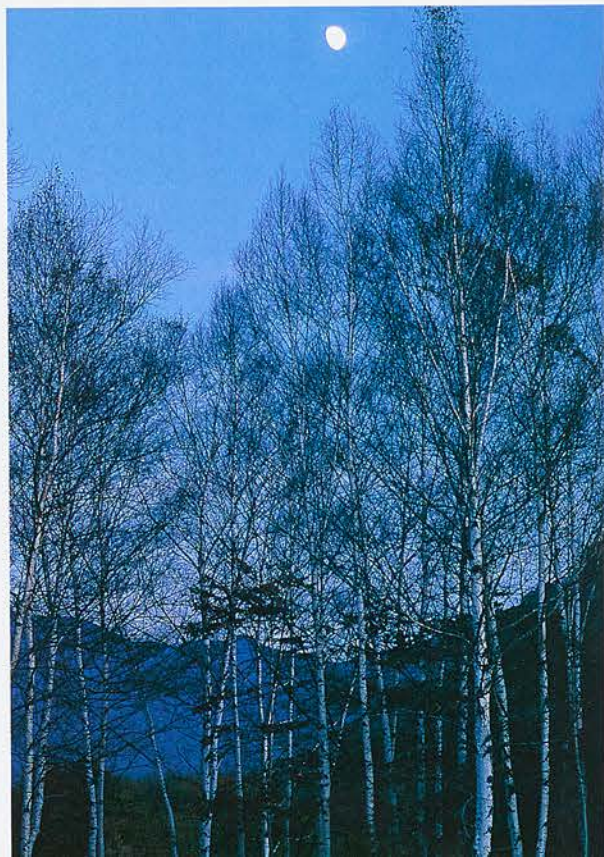
た、日本の未来がそうあつてほしいとも思っています。そのことを、これから日本で生きていく人たちへのメッセージとして、写真に含ませてもいいです。

日本の自然環境というのは、人間に調度いい大きさなのです。

日本が自然に恵まれているということですが、日本人の中にはそのことを実感できていない方も多いように思います。先生はたとえばどのような点で日本の自然環境が恵まれているとお考えなのでしょう？

たとえば飛行機に乗って空から眺めてゆくと、モンゴル人は牧畜民族ですから

秋は空が澄んで、天空の月などが目立つ季節。夕間、朝方の光を利用して、月のある風景を撮ろう。
■カメラ：ミノルタα9 レンズ：ミノルタ28-70mm F2.8 シャッタースピード：Sモード1/5 AE -2/3補正 フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：群馬県水上町



日本で一番早く紅葉するのが、北海道の山々。これは大雪山赤岳の紅葉。9月の中旬。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF300mm F2.8 L シャッタースピード：1/30 AE +2/3補正 フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：北海道大雪山



紅葉の色合いを、正しく抽出するにはPLフィルターが有効である。PLフィルターで背景の表面反射を除去して、本来の色を引き出すのだ。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF300mm F2.8L シャッタースピード：1/60 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：北海道大雪山



家畜の餌である草を大事にしています。ですからモンゴル平野には大草原の緑が保たれている。ところが国境を越えて中国に入った途端、土と岩と泥だけの世界になります。中国人は古代から何千年に渡って木を植えてきませんでした。だから乾いた風景が続く。緑が圧倒的に少ないのです。それが朝鮮半島まで来ますと、やっと山に木が増えてきて、人と緑の関係を思わせるような風景が見えてきます。しかし、日本海を越えて、飛行機が島根県の上空まで来ると、眼下にはいきなり驚くほど緑が豊かな光景が現れるのです。

日本海沿岸というのは土の空間がないくらいびっしりと木や草が生えていて、秋にはこれがみんな紅葉になるのです。そうした環境に我々はいるのです。

また、海に囲まれた島国で四季がある恵まれた自然環境というのは、日本以外では、私が見ている限りでは地球上に四ヶ所しかありません。イギリスとアイランド、それにタスマニアとニュージー

秋という季節は日本のためにはあるのではないか、 そう思わせるほど、日本の秋は素晴らしい。



紅葉の最も美しい部分のみを抽出するが、紅葉撮影のコツ。望遠ズームを使って、形、色合いの見事な部分を抽出するのだ。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF70-200mm F2.8L シッターズスピード：1/10 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：福島県松枝村

秋は太陽がかなり南へ移行する。そのために斜光線となり、立体感のあるライティングとなってくる。
■カメラ：ペンタックス67 レンズ：SMCペンタックス67 300mm F4.5 絞り：f16 AE-2/3補正 フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：長野県鬼無里村



皆さんも認識されるようになってきたのでしょうか。そういう意味ではアマチュアの方々の表現力が高まってきたと言えると思います。今後より一層、自由に撮ってもらいたいですね。

ただ一つ、注意していただきたいのは、自由に撮るといふことはとても大事なことです。自分の感じたことが人に伝わるように、そのことを意識して撮らなければならぬということです。自己満足はだめです。そのことには注意を払っていただきたいですね。

先生は審査の際に、以前よりタイトルに注意してほしいと皆さんにアドバイスをされていますが、これは具体的にはどのような点に注意すればいいのでしょうか。

ーランドです。島国にはきめ細やかな自然が育つという特色があります。写真に撮りやすい程度にきめ細やかな自然です。つまり自然風景を通して、自分の心と対話できる程度の大きさの、調度いい自然なのです。

ヒマラヤのエベレストとか、アメリカのロッキーマウンテンといった広大な風景を相手にしたのでは、ただ自然の雄大さに圧倒されるだけで対話することはできないのです。だから日本人特有の自然観というのは、自分の心と対話しながら、人間のスケールで風景を眺めることで育まれてきたのです。

日本列島の自然は世界でも特殊な環境なのです。

その恵まれた自然環境が、日本の素晴らしい秋の紅葉を生み出してくれているわけですね？

そうです。私は世界各地の秋を撮ってきましたが、やはり日本の秋、特に紅葉の鮮やかさは世界一です。落葉広葉樹というのは地球上の中緯度から北側に生えています。南半球を含むその他の地域は常緑広葉樹が多いですね。その落葉広葉樹が繁茂している地域の中でも、こん



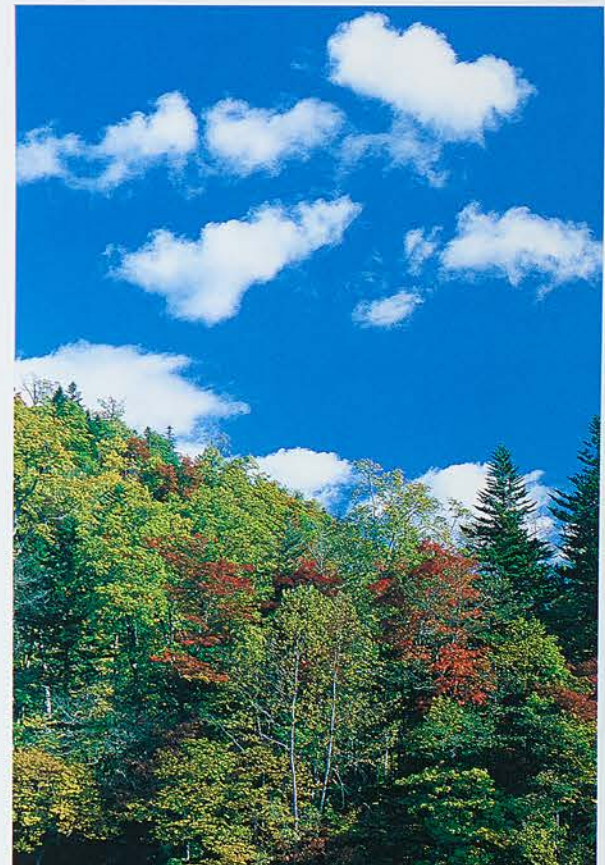
晩秋の風景。枯れ木の彼方に日が落ちていく。ややアンダー気味にして、情感を抽出したもの。
■カメラ：ミノルタα9 レンズ：ハイスピードAFアポテリ300mm F2.8G シッターズスピード：Sモード1/60 AE +2/3補正 フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：長野県信濃町

タイトルというのは写真の説明ではありません。自分の主張の現れです。その主張を簡潔に明確に表すことが基本です。ですからあまり規制のイメージに捉らわれないで、自分の気持ちと写真の絵との調和をはかったタイトルを付けることに留意していただきたいですね。

もちろん、実際に語るのとは写真であり、作品であって、タイトルが語るわけではありません。しかしタイトルは作品が語るのを手助けするのです。その意味で自分の思いをそっと伝える程度が調度いいのではないのでしょうか。応募される方々の多くは年齢を経た大人なものですから、その人生体験が現れてくるようなタイトルならば、さらによいと思います。

また、当初に抱いた、日本の秋をどのような観点から撮ろうか、どの場所をどのように撮ろうかという撮影以前の自分の想像が、実際に撮影する現場に立ったときに、どう変化したのか、そのことをタイトルに反映させてもいいのではない

秋は空が美しい。PLフィルターを使って、大空の色合いを引き出していく。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF28-70mm F2.8L シッターズスピード：1/60 AE フィルム：RVP PLフィルター・手持ち撮影 撮影地：北海道新得町



もっと自由に秋を撮ってほしい。

最近のキタムラの「秋の彩フォトコンテスト」で上位入賞される方々の作品は、技術的にも発想の点でも、非常に多彩になってきているように思うのですが、こうした傾向について、先生のご意見をうかがえればと思います。

写真の表現は自由です。写真はこう撮らなければならないというものが法律で決まっているわけではありませんから、自分が感じたままを撮っていくことが大事だと思います。そのことを応募される

でしょうか。

ノルウェーフィヨルドは地球の原始の姿を見る思いがします。

今後の先生の活動のご予定を教えてください。

ヨーロッパはここ20年くらいじっくり撮っている地域で、これをもっと幅広く充実させていこうと思っています。この取材の後、ノルウェーに行きますよ。



ノルウェーフィヨルドの秋。季節は10月上旬。北極圏の山々はすでに雪化粧をして、冬の到来を待っている。
■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMCペンタックス645 80mm F4.5 絞り：f16 AE +1/3補正 フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：ノルウェートロムン郡外

「シリウス」オープニング写真展
「北欧物語」竹内敏信

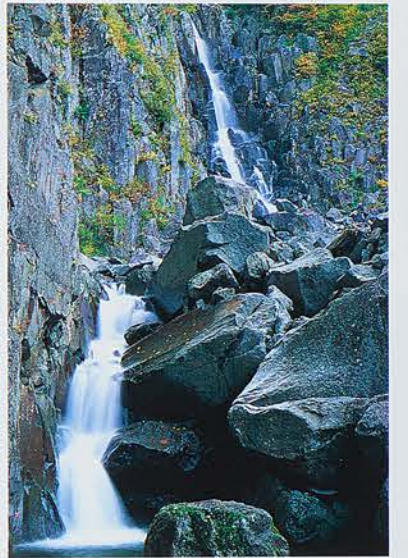
期間/2001年9月4日(火)～10月10日(水)
10:00AM～6:00PM(入場無料)最終日3:00PM迄
日曜・祝日休館 ※但し9月15日(土)特別開館
会場/アイテムフォトギャラリー「シリウス」
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-4-10 アイテム新宿御苑ビル2F
Phone.03-3350-1211

■A 地下鉄丸の内線「新宿御苑前」大木戸方面出口
■B 地下鉄丸の内線「新宿御苑前」新宿門方面出口

日本の滝も世界的に見れば特殊なのです。



滝を撮るときのシャッター速度は、1/2秒以下の低速か1/250秒以上の高速のどちらかが面白い。これは低速で捉えた滝。
■カメラ：ミノルタα9 レンズ：80-200mm F2.8
シャッター速度：Sモード1/2 AE +2/3補正
フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：北海道不動の滝



山形県米沢市の、奥深い谷間に落ちている火焰滝。岩と水との入り組む様子をシャープなピントで捉えたもの。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF70-200mm F2.8L シャッター速度：1/2 AE
フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：山形県火焰滝



奥日光 小田代ヶ原での早朝の風景。外気が冷や込み、地表近くを薄い霧が浮遊して、幻想的な空間が生まれた。
■カメラ：ミノルタα9 レンズ：AFマクロ300mm F2.8 シャッター速度：Sモード1/125 AE +2/3補正
フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：栃木県小田代ヶ原



すので、興味のある方は見に来ていただきたいです。

写真集など、出版物のご予定はありますか？

「二十四節季」という写真集をまとめたと思います。日本の四季をさらに細かく二十四に分けて、それを写真で

一つずつ表してみようという企画です。写真は選んであるのですが、時間がなくてなかなか構成まで進めません。また、予定ではないのですが、この前、学習研究社から「日本の滝1000」という三冊シリーズの本が発売されました。これは日本で名の知れた1000の滝の写真を「遊楽の滝」「和みの滝」「幽遠の滝」と三冊に分けて編集した写真のガイドブックです。とても一人で1000もの滝すべてを撮れないですから、日本滝写真家協会というのを作りました。みんなも手伝ってもらいました。

滝の写真的撮り方も、滝の撮影テクニックとして説明しています。1冊にまとめられればよかったのですが、厚くなりすぎてしまっていて、とてもこの本を片手に滝を撮りに行くというわけにはいかなくなってしまうます。ですから3冊に分けました。日本の滝というのは、たとえばナイア

ガラとかビクトリアとか、ノルウェーの山奥から流れ落ちる落差百数十メートルの滝とは比べものにならないのですが、それでも細やかで美しいんです。だから滝に打たれて心身を清めようなどという考えも生まれてくる。外国では誰も滝に打たれようなんて考える人はいません。だいたい泥の滝が多いので、心身は清まりません。ナイアガラの下なんて行ったら木っ端微塵になってしまいますね。そういう意味で日本の滝というのも世界では特殊なものなのです。

カメラのキタムラ「第10回 全国秋の彩フォトコンテスト」

今回の「全国秋の彩フォトコンテスト」について、応募される方々へご要望やアドバイスがありましたらお話しください。

日本の秋は特殊なのだという認識を持って撮ってほしいですね。また紅葉ばかりではなく、皆さんの心の中にある秋への思いというのを表現してほしい。秋の



ささやかな訪れや、あるいは秋が過ぎ去った初冬のうら寂しい風景など、一人一人の心の中にある秋を、もっと作品に取り入れてほしいです。日本人は日本の四季の変化を人生にたとえてきました。その日本人固有の感性を写真に込めて撮ってみると、また違った変化が出てくるんじゃないかと思えます。応募される方々一人一人が、自分の秋を見つけてほしい。様々な発想の作品を寄せてほしいですね。私は朝日や読売主催のコンテストでも審査員を勤めています。それらと比べてもこのキタムラの「全国秋の彩フォトコンテスト」のレベルは素晴らしく、入賞された方々の作品に遜色がありません。特にリバーサルプリント部門は毎回激戦です。だからこそ自分の秋の表現が、入賞

を決める重要なポイントになってくると思います。また、毎年、昨年の上位入賞作品と似たような作品を応募される方がいるようですが、二番煎じの作品が入賞するということはありませんので、ぜひ、皆さんのオリジナリティを発揮していただきたいと思えます。

カメラのキタムラに期待されること、思うことがありましたら、お聞かせください。

このような素晴らしいフォトコンテストを開催しているのですから、集まった作品が見られるギャラリーを、メインの店舗だけでも作ってみてはどうでしょうか。ちょっとしたミニギャラリーでも



色づいた葉がハラハラと舞いおいて、地表に見事な絨毯を敷きつめる。秋の光を生かして、効果的に捉えたい。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF28-70mm F2.8L シャッター速度：1/30 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：青森県十和田湖蘆沼

いいと思うのです。通常はそこでプロの写真家の作品を展示すれば、お店に来るお客さんの写真技術も、いっそう向上していくように思います。

ご多忙のところを、ありがとうございました。



秋の美しい光と、澄んだ青空をバックにして、逆光で輝く色合いを撮ってやりたい。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF300mm F2.8L シャッター速度：1/60 AE +2/3補正
フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：新潟県湯之谷村

第10回 全国秋の彩 フォトコンテスト

カメラのキタムラ

第10回 全国秋の彩フォトコンテスト 作品募集のお知らせ

「年々応募作品のレベルが着実にアップしている」と審査員の竹内敏信先生からご好評をいただいているキタムラ「全国秋の彩フォトコンテスト」。今回も紅葉をはじめ、日本の「秋の彩」を表現した作品なら何でもOKですので、皆さんの傑作・力作をふるってご応募ください。

賞金・賞品総額 **550万円**

※詳しくは、9月上旬よりカメラのキタムラ店頭にて設置される応募用紙またはポスターをご覧ください。

美しい紅葉に出会ったら、クローズアップで美を抽出してやる。クローズアップには望遠レンズが適している。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF300mm F2.8L シャッター速度：1/60 AE +2/3補正
フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 撮影地：北海道土幌町

キタムラのお客様が推薦する「秋の彩」撮影ポイント

このページはお客様からの「撮影ポイントを教えてもらいたい」という声に応じて企画しているページです。掲載されている撮影ポイント及び写真は、「第9回 全国秋の彩フォトコンテスト」に入賞された方々のご協力をいただきました。撮影者の方々からの撮影アドバイスも掲載していますので、参考にしてください。

説明の番号は ①撮影者 ②撮影場所 ③撮影チャンスと時期 ④撮影アドバイス ⑤交通手段

※時期はその年の気候によって変化します。事前に確認してお出かけください。

※掲載写真は昨年以前に撮影されたものです。現在は景観が変わっている可能性もありますので、ご了承ください。

※撮影する場合はエチケットやマナーをお守りください。特に撮影地の所有者や近隣に迷惑をかけないように注意しましょう。自然環境への配慮もお願いします。

〈紅葉の部〉

1 ①宗山 和夫様 ②北海道函館市見晴公園
③10月上旬 午前9時～午後3時頃 ④初雪の紅葉を撮るなら早朝、落ち葉を撮るなら朝、通常の紅葉を撮るなら午前9時～午後3時頃。⑤JR函館本線函館駅下車→市電湯の川行き湯の川駅下車→徒歩30分。



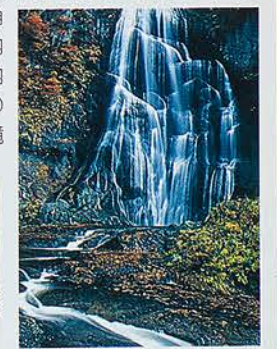
2 ①浜田 千都子様 ②青森県十和田湖畔十和田湖湖畔 ③10月中旬～下旬 午前中 ④この時期は気象変化が激しく、雨が雪に変わることもあるので防寒対策を。突風にも要注意。⑤JR東北本線青森駅→バス十和田湖行き諏湖台下車すぐ。



3 ①手島 常雄様 ②青森県奥入瀬渓流阿修羅の流れ付近 ③10月下旬 午前6時～10時頃 ④渓流を挟んで大木が繁り、滝や淵など変化に富んだ自然が楽しめる。紅葉の時期は撮影ポイントが数多い。⑤東北自動車道十和田ICより50km。※遊歩道があり、駐車場・トイレ完備。



4 ①佐藤 恒明様 ②秋田県北秋田郡阿仁町森吉山県立自然公園 ③10月下旬 午前10時～午後2時頃 ④無風で薄曇りの日がいい。⑤JR秋田新幹線角館駅下車→秋田内陸縦貫鉄道比立内駅下車→車で安の滝園地へ→安の滝まで徒歩50分。



5 ①原田 憲二様 ②岩手県岩手郡松尾村八幡平 ③10月中旬 午後3時～4時頃 ④気象の急変や急斜面の足元に注意。200～300mmレンズで、できるだけ絞り込んで撮るとよい。⑤JR東北本線盛岡駅下車→岩手県北バスアスピーテライン經由八幡平頂上行き茶臼口下車→徒歩10分。車の場合は東北自動車道松尾八幡平ICからアスピーテライン經由で約23km。



6 ①泉貴 隆二様 ②山形県上市市蔵王エコーライン途中 ③10月中旬 晴天時は午前9時頃、雨天では終日 ④晴れた日もよいが、雨の日はガスが出やすく、撮影には好条件となる。露出はアンダーにならないように補正が必要。⑤東北自動車道白石IC→国道457号遠刈田方面→県道12号蔵王エコーライン旧料金所より約1km登る。



賞金・賞品総額
550万円

カメラのキタムラ「第10回 全国秋の彩フォトコンテスト」作品大募集!!

今年もキタムラ「全国秋の彩フォトコンテスト」を開催いたします。紅葉をはじめ、あなたの見つけた日本の「秋の彩」を大募集。傑作・力作をふるってご応募ください。

※詳しくは、9月上旬よりカメラのキタムラ店頭にて設置される応募用紙またはポスターをご覧ください。



●印はカメラのキタムラがある地域。

※他にも素晴らしい作品(ポイント)もありましたが、誌面の都合上割愛させていただきました。

7 ①田中 幸人様 ②福島県磐梯 ③10月中旬～下旬 午後5時頃 ④天候にもよるが、日が落ちるまで待ってがまんして撮ること。⑤東北自動車道→磐越自動車道猪苗代磐梯高原IC→県道7号→国道459号檜原湖と小野川湖の中間で右折→リゾートホテルの所を右折。



8 ①松村 詔人様 ②栃木県塩谷郡栗山村若間地区県道23号沿い ③10月中旬～下旬 午前8時頃 ④標準から望遠まで、多彩な狙い方ができる。雨の翌日で霧が出れば最高。霧雨ならば雰囲気のある写真が撮れる。⑤東武鬼怒川線鬼怒川温泉駅下車→栗山村営バス女淵線蛇王ノ滝下車→鬼怒川に降りる遊歩道に沿って徒歩7分。



11 ①沢登 圭造様 ②長野県野辺山高原帝産ロッジ付近 ③10月下旬 午前6時～7時半頃 ④色よく落葉する時期を予想するのが難しい。奥にフェンスがあるので霧が出ている日の、早朝の斜光が適していると思う。場所的に広くないので注意。⑤JR小海線野辺山駅下車→車で松原湖方面へ約1km。



9 ①佐野 和也様 ②新潟県東頸城郡松之山町松口美人林 ③11月上旬～中旬 朝・夕 ④ブナ林はどこにレンズを向けても絵になる。交換レンズを駆使して自分なりの表現を。⑤JR上越新幹線越後湯沢駅下車→JR上越線六日町駅下車→北越急行松代駅下車→バス松之山温泉下車。



10 ①田尻 勝博様 ②長野県上高井郡高山村桶沢川上流 ③10月中旬 午後2時頃 ④林道は天候により通行止めとなる。曇天もしくは日影になる時間帯の方が紅葉の色がきれいに表現できる。⑤長野電鉄須坂駅下車→車で高山村福井原から林道に入る。車で行く場合は上信越自動車道須坂長野東IC→須坂市→高山村→高山村福井原から林道に入る。



〈一般の部〉

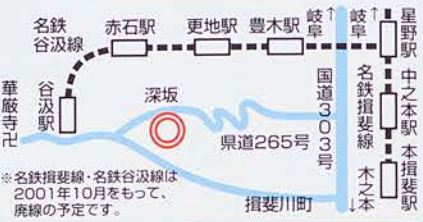
7 ①田平 美千子様 ②広島県吾妻山国民休暇村付近 ③9月上旬 午前中 ④山の天候は崩れやすいので注意。山野草が多く咲いている。登山客が多いので、入れて撮ってもいいのでは。⑤JR芸備線備後庄原駅下車→備北交通比和高野行きバス森脇下車→休暇村マイクログルメ国民宿舎吾妻山下車。



6 ①水島 次男様 ②鳥取県八頭郡佐治村 栃原地内 ③4月下旬~5月上旬 午前中 ④奥津温泉付近には桜やこぶしの花が美しい所がありますし、恩原高原には秋から冬にかけて、撮影に適した所があります。⑤JR姫新線津山駅下車→中鉄バス越後下車→徒歩約2時間。季節によっては土日祝に中鉄バスが恩原高原まで運行。恩原高原下車→徒歩30分。



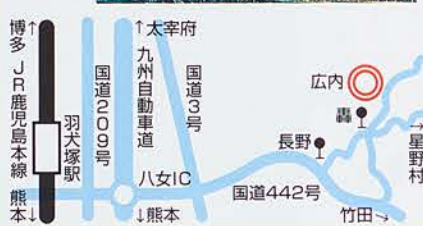
5 ①浅井 博司様 ②岐阜県揖斐郡谷汲村 深坂 ③11月上旬 午前6時半~7時半頃 ④霧が発生しやすく、ときにはそれが遠方の人工物をうまく隠してくれることもある。⑤名鉄谷汲線谷汲駅下車→車で深坂方面へ。または国道303号 大野町→県道265号→谷汲村。



10 ①深蔵 正成様 ②大分県直入郡久住町くじゅう花園 ③7月中旬 午前8時頃 ④朝方の弱い斜光か半逆光を利用するとよい。晴天時は久住の山々の大自然が素晴らしい。⑤JR豊肥本線豊後竹田駅下車→バス久住町下車→タクシーで約10分。



9 ①樋口 一男様 ②福岡県八女郡野村広内 ③9月下旬 午後5時頃 ④石積の棚田で夕方の斜光を利用し、彼岸花を強調する。稲刈りをする人物を入れて撮影するのも可。⑤JR鹿児島本線羽犬塚駅下車→バス野村行き轟下車→徒歩15分。



8 ①日下 芳治様 ②徳島県三好郡東祖谷山村久保 ③9月中旬 午前7時頃 ④朝夕の斜光が劇的な風景を生み出してくれます。⑤JR土讃線大歩危駅下車→四国交通バス久保下車→徒歩約40分。



11 ①橋本 桂太郎様 ②熊本県阿蘇外輪山北西部の菊池渓谷 ③11月上旬~中旬 早朝~午前中 ④日中は観光客が多いので早朝の撮影をお勧めする。ゴム長をはいているとカメラポジションの自由度が広がって便利。⑤JR鹿児島本線熊本駅下車→熊本電鉄バス菊池温泉行きまたは菊池プラザ行き菊池プラザ下車→九州産交バス菊池渓谷行き終点下車(運行期間11月30日まで。1日4本)



※他にもすばらしい作品(ポイント)もありましたが、誌面の都合上割愛させていただきました。

〈紅葉の部〉

14 ①田辺 紀子様 ②大分県朝地町用作公園 ③11月中旬~下旬 午前10時または午後3時頃 ④もみじ祭りの最中はライトアップもあり、公園の池に映る幻想的なもみじが撮れることも。⑤JR豊肥本線朝地駅下車→徒歩30分。



13 ①浦野 吉太郎様 ②鳥取県西部伯耆大山中腹 ③10月下旬 朝または夕方 ④雨の多い地域なので、前もって現地の天候を調べておくこと。⑤JR山陰本線伯耆大山駅下車→県道24号(大山路)約2時間。



12 ①平谷 寿一様 ②奈良県吉野郡東吉野村大又 ③11月下旬 午後4時頃 ④背面より陽光が射しているために木立の影が出てしまう。夕方、陽が陰ってから撮影するとよい。⑤近鉄吉野線大和上市駅下車→国道169号線→県道16号線東吉野村役場の所を右折→大又。



〈一般の部〉

2 ①佐藤 信一様 ②長野県秋山郷和山 ③5月上旬 午前中 ④10月中旬の紅葉も美しい。バックに鳥甲山を入れると良い。雨が降ると写真が落ち着き、深みが出る。⑤JR飯山線津南駅下車→越後交通バス秋山郷行きで1時間。または、志賀高原・奥志賀から林道秋山線車を車で1時間。



1 ①大谷 豊彦様 ②青森県八戸市より南郷村に入る2kmほど手前 ③11月下旬 午前5時頃 ④早朝、斜光が柿の木を照らす、その瞬間がシャッターチャンス。100mm~200mmの望遠レンズが必要。⑤JR東北線八戸駅下車→車で30分。または八戸自動車道八戸ICより20分。



4 ①坂本 省介様 ②神奈川県南足柄郡箱根石原 ③11月上旬~中旬 日没頃 ④ススキのみでは早朝から日没まで撮ることができるが、ススキのみでは平凡な写真になりがちなので、レンズの選択や霧等を利用するなど工夫が必要。⑤JR御殿場線御殿場駅もしくは伊豆箱根鉄道箱根湯本駅下車→箱根登山鉄道バスで仙石高原下車。



3 ①小林 英樹様 ②群馬県水上町谷川岳一ノ倉沢合 ③10月中旬~下旬 夜明け頃 ④太陽光が射しはじめたら、刻々と変化する光と陰のバランスを考えて撮影すること。⑤JR上越線水上駅下車→関越交通バス谷川岳ロープウェイ土合口駅行き終点下車→旧道(清水街道)に沿って徒歩60分。



説明の番号は ①撮影者 ②撮影場所 ③撮影チャンスと時期 ④撮影アドバイス ⑤交通手段

※時期はその年の気候によって変化します。事前に確認しておかけください。
 ※掲載写真は昨年以前に撮影されたものです。現在は景観が変わっている可能性もありますので、ご了承ください。
 ※撮影する場合はエチケットやマナーをお守りください。特に撮影地の所有者や近隣に迷惑をかけるように注意しましょう。自然環境への配慮もお願いします。

田中長徳氏執筆

日本のカメラ よもやま話

最終回

日本の「らいか」と日本の「こんたっくす」
戦前、戦後の日本の距離計カメラを旅する。

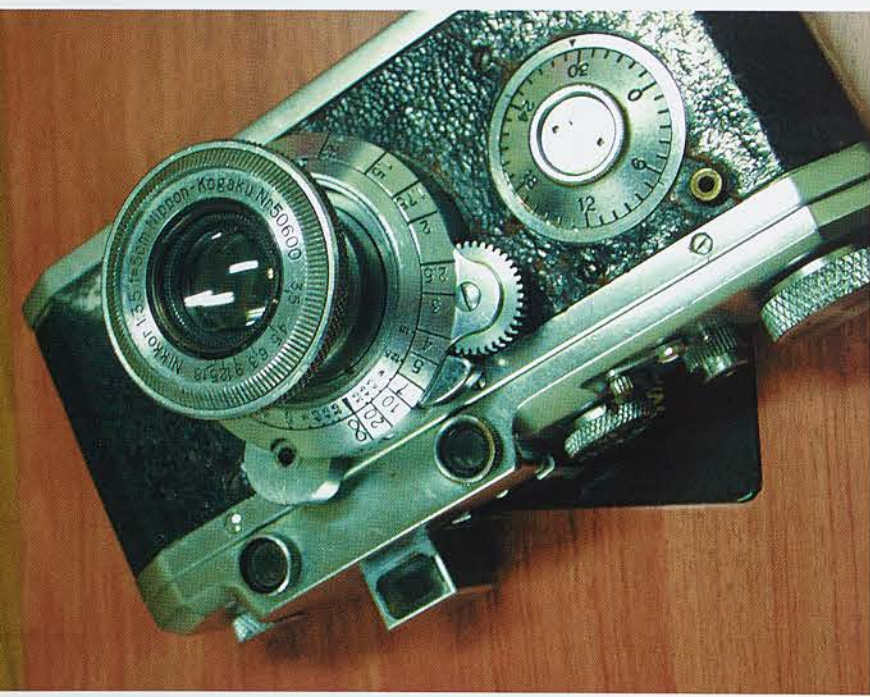
田中 長徳

たなか ちょうとく / 1947年東京生まれ、日大写真科卒。日本デザインセンター勤務の後、1973年からフリーランス写真家に。ウィーンに8年間、ニューヨークに1年間滞在。東京、ウィーン、ニューヨークなどで個展多数開催。著書・写真集多数。最近クラシックカメラのエッセイの仕事も多い。日本写真家協会会員。



1936年生のハンザキヤノンで撮影した、私のポートレート。若干のピントずれはあるが、暗い場所で、これだけの描写が出来るのは素晴らしい一語である。撮影：中村文夫氏

1936年製のハンザキヤノン。面白いのは、現代ではライバルである、ニコンのレンズ、ニッコールが専用レンズである点だ。その仕上げの良さと、精密な工作精度はライカに肉薄する。カメラは近江屋写真用品株式会社蔵。



35ミリレンジファイ
ンダー機は、常に新し
い。これは、我々が20
世紀の写真機の歴史
と云うのが、ライカを始
めとするレンジファイ
ンダー機というのには、
そこにどれほどの古さ
も感じさせないばかり
か、かえって、そのシ
ンプルさが、現代のあ
まりにも便利一辺倒が
切れたらただの函であ
るところの、最新型オ
ートフォーカス一眼レ
フの複雑構造を無言の
うちに批判しているよ
うな所がある。

このシリーズもいよいよ最終回となつた。今回は私の一番、気になっているカメラである、35ミリレンジファインダーカメラの話しよう。
世の中はデジカメ一色の感がある。私のようなオールドライカボーイでも、仕事に使うカメラは現在では完全にデジカメに頼っている。ところが一方で、趣味の写真と言うべきか、あるいは、純粋な写真芸術の方面と言うべきか、その言い方はいろいろあるが、要するに自分の楽しみとしての写真というのは、ライカを始めとするレンジファインダー機で撮影をしているのだ。

実例を挙げれば、私がライカM2を購

入したのは1967年、つまり私は1947年生まれであるから、ちょうど二十歳の時のことで、それ以来、M2をずっと自分の写真行為の最前線で使用しているのだ。
距離計連動カメラという写真機の中には、独特のものがある。1960年代と言えば、前世紀の半ばの話であるから、すでに40年の大昔であるが、その当時に生産された工業生産物が、それが写真機であるから、2001年の現在でも実用に耐えるのであって、もし、これが他のクルマや電話機や、音響製品であったのなら、アンティークという認識はあるであらうが、実用という範疇からはほど遠いモノの存在であらう。

Nikon

ずっと、ずっと、ウイズ、ユー

新発売

本格&カンタン一眼
New **Nikon U**

希望小売価格【税別】：
●ボディ本体（リモコン・ストラップ・アイピースキャップDK-5付）..... ¥61,000
●AFズームニッコール28~80mm F3.3~5.6G [シルバー/ブラック]..... ¥25,000
●AFズームニッコール70~300mm F4~5.6G [シルバー/ブラック]..... ¥30,000

ママのそのカメラは、家族を未来に残せるカメラですが。

Nikon 株式会社 ニコン 本社 100-8331 東京都千代田区丸の内3-2-3 (富士ビル) 製品に関するお問い合わせは「お客様相談室」まで。電話 (03) 3775-2266 FAX (03) 3775-7201

京セラ株式会社

CONTAX T3

NEW



- 描写性能で格段の進歩を遂げた新開発カール ツァイス ソナー-T*35mm F2.8
- コンパクトカメラの撮影領域を大きく広げる多彩な先進機能
- 「持つ喜び」を満足させる高耐久・高品位コンパクトボディ
- 自分のためのカメラに設定が可能なカスタム機能

メーカー希望小売価格 (税別)

T3.....¥98,000/T3チタンブラック.....¥108,000 (ケース、ストラップ付)

T3D.....¥108,000/T3Dチタンブラック..... ¥120,000 (データバック、ケース、ストラップ付)

[CONTAX T3 主な仕様]

- ・レンズ/カール ツァイス ソナー-T*35mmF2.8 (4群6枚) ・絞り/F2.8~16
- ・シャッター型式/ダブルピットウィーン式レンズシャッター
- ・シャッタースピード/プログラムオート時: 16秒~1/1200秒 (絞り開放時最速1/500秒) ロングタイム設定時: 1秒~180秒
- ・寸法/105 (幅) ×63 (高さ) ×30.5 (奥行き) mm ・質量/230g (電池別)

お問い合わせ先 京セラ株式会社 光学機器事業本部 マーケティング部
〒158-8610 東京都世田谷区玉川台2-14-9 TEL03-3708-3790 京セラホームページ <http://www.kyocera.co.jp/>

戦後のチープライカコピーであった、タナック。これは田中光学製でアメリカでもその実用性と求めやすさで人気機種だった。現在、我々はこのカメラをライカコピーではなく「らいか」と呼ぶべきなのだ。



ではなかったのだ。
昭和20年代から30年代にかけて、覇権を争ったのは、ニコンとキヤノンである。ニコンシリーズはコンタックスマウントを採用し、その外見もツァイスの名機コンタックスを意識していた。一方のキヤノンの各種モデルはライカスクリュエーマウントを採用し、そのスタイルはライカを意識していた。ライカ×コンタックス戦争は当時は欧米だけの話で、日本国内ではニコン×キヤノン戦争であったのだ。そのニコンやキヤノンでも高価である

の結果として、ライツミノルタCCLを出し、その後継機としてミノルタCCLも登場した。ところが、それから20年が経過した2000年になって、40年前のレンジファインダーブームがまた復活してきたのだ。
これは回顧趣味というよりも、もともと意志をもった、レンジファインダー機の見なおしが行われた結果であろう。オートフォーカス一眼レフやデジタルカメラの普及が、写真撮影を楽なもの、考えないで可能なものという認識にしまっ

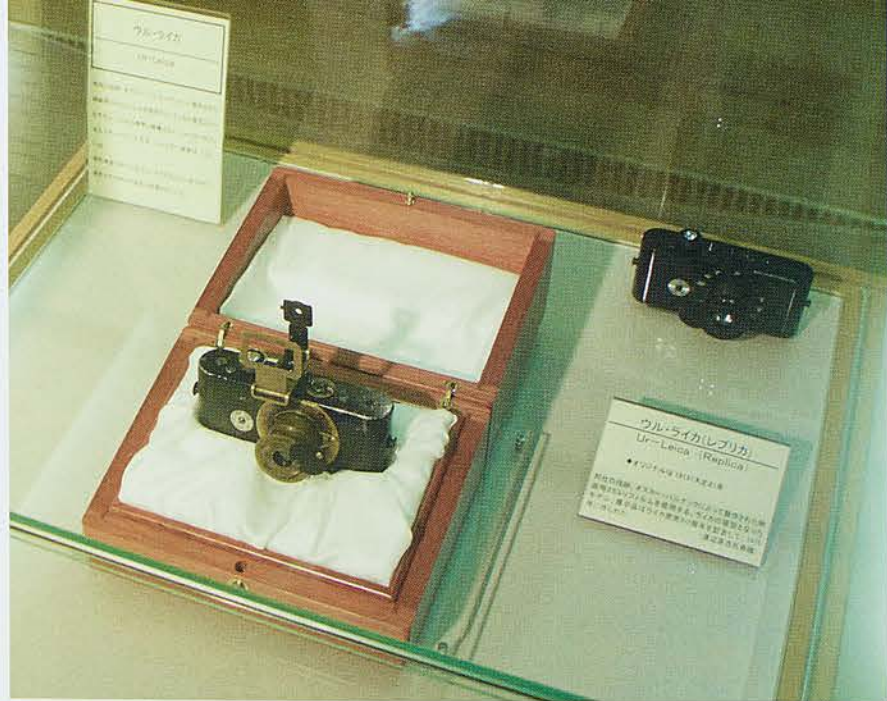
た結果、レンジファインダー機の考えて撮影する良さ、モチーフをファインダーで直接確認できる良さが再認識されたのだ。往年のニコンS3がそのままに復刻されたり、ベッサRやコニカヘキサというような、21世紀スタイルのレンジファインダーカメラが続々と登場してきた。第一次ブームだった1960年代のレンジファインダー機と、現代のそれとを比較するに、その機構的な進歩は言うまでもないが、それ以上に注目し値するのは、最近登場した、フォクトレンダーや、リコーやヘキサなどのライカマウントやコンタックスマウントの新鋭レンズ群である。これら、最新設計のレンズを使用すれば、40年前のクラシッくなレンジファインダー機の使い心地の良さはそのままだから、これはまさに、「古い革袋に新しい酒を盛る」という古いことわざの現代語訳でもある。



日本製の「らいか」の2001年における最新の進化形態を示す、ベッサTとコニカヘキサRF。ともにライカMマウントを装備し、ヘキサRFは、モーター巻き上げの自動露光のフルオート機。一方のベッサTはファインダーを廃止し、専用ファインダーのみを利用し、ラビッドワインダーを採用した、個性派である。

「らいか」そして「こんたつくす」と呼ぼうと思う。第二次大戦直後には、ドイツ製カメラの真似であると、世界から批判されていた、これらのカメラは、今、ようやくその正しい評価を得ることになったのだ。
【完】

門外不出のウルライカは2001年7月24日から1週間だけ、東京の日本カメラ博物館で展示された。森山真弓法相がテープカットをするという、大イベントであった。ライカ社が日本のマーケットに寄せる期待が、これでも理解できる。



を考える上で、常に意識している必要があるテーマなのである。いや、このテーマは案外、我々の世紀である21世紀にあって、ちゃんと記憶されなければならぬであろう。日本の写真機工業の幕開けは、一眼レフによって開始されたのだけれど、実はその前段階で、1954年にデビューして世界を震撼させたライカM3のことを忘れてはならない。
この画期的なレンジファインダー機は、それまでレンジファインダー機が持っていた欠点をほぼ完璧にまで、克服した新鋭機であった。それまで、ドイツ製の

レンジファインダー機に倣って、同様のカメラを延々と研究、試作、生産、販売して来た、日本のカメラメーカーは、ここに至って匙を投げたのであった。つまり、ライカM3のようなカメラは制作は出来ないから（これは技術的な問題だけではなく、コストの問題でもあった）一眼レフに転身しようというのである。
結果として、この作戦変更は正しかった。そのおかげで、日本は今や、世界一のカメラ大国となったのである。その一眼レフ大国の日本の状況を踏まえて、戦前から戦後にかけての日本のレンジファインダー機の歴史を振り返って見るのは意味があることだ。

先頃、日本のレンジファインダー機の歴史に興味ある「事件」が2件起きた。そのひとつは東京の日本カメラ博物館で開催されている「ライカ展」で、ライカ本社に保管されている「ウルライカ」(世界最初のライカ試作品)が1週間だけ、展示されたのである。門外不出の珍品ライカが、わざわざ日本で展示されたのはライカ社が日本を重要なマーケットと認識している証拠である。二件目の「事件」は、今年で創立80周年を祝う、近江屋写真用品株式会社がライカM6 TTLの100台限定をリリースすることを発表したことに端を発する。その限定版ライカM6のサンプルを見せてもらった時、近江屋写真用品株式会社に秘蔵されている、国産最初のレンジファインダー機、ハンザキヤノンも見せてもらった。これは話には聞いていた幻のカメラであるが、いまだにしっかりととした機構で写真を撮影すること



日本の戦後の写真製品、実は有名にさせたのは、カメラそのものよりも、レンズであった。ニッコール50ミリがその先鞭を告げ、それに付いて有名になった。2001年には、キヤバの愛機であったニコンSに、フォクトレンダーの新鋭レンズが装着可能な時代である。

ができる。その年代は昭和11年、つまり1936年である。同社は1936年にハンザキヤノンを自社ブランドで登場させ、2001年にはライカM6を自社の記念限定版として登場させるわけだが、この事実はこの70年ほどの間の日本とドイツのカメラ生産国としての位置関係の激変を彷彿とさせる。

1936年に近江屋写真用品株式会社が自社ブランドのライカなどを、注文した所で世界のライツ社には相手にはなれなかったであろう。ハンザキヤノンは国産レンジファインダーの草分けであったからだ。それが2001年に世界のライカ社（この意味はグローバル企業という意味である）が、ハンザの為にライカの限定版を生産するようになったのだ。そこには日本のカメラの昔と今の、その地位の変化がはっきりとしたコントラストで、浮き彫りにされているのである。

価な外国製品(当時は舶来品と呼んだ)に代わる、実用的な国産品を提供することがその目的であった。とは言うものの、その当時の国産機は、いずれもサラリーマンの給与の10ヶ月分はゆうにしたのである。現代の我々が気軽に買うことのできるような、国産レンジファインダー機

コニカ賞 全部門共通 賞金3万円と楯(10名)



佳作 賞金1万円と楯

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <p>リバーサルプリント 桜の部(50名)</p> <p>北海道 川合 修(旭川市)「桜とカワセミ」 青森県 工藤雅巳(弘前市)「夕景」 山口和男(南津軽郡)「夕刻の桜」 大平光徳(黒石市)「流転」 佐藤宗子(青森市)「朝露立ち始める桜林」 宮城県 丸田正市(仙台市)「櫻降る」 秋田県 伊藤一寿(北秋田郡)「花びら舞う津軽鉄道芦野公園駅」 山形県 沼沢麗子(山形市)「桜色」 横山哲夫(西置賜郡)「花夜」 茨城県 根芝一夫(古河市)「散桜」 石川四郎(ひたちなか市)「残雪に散る」 群馬県 原澤康隆(前橋市)「桜の宴」 海藤よし子(太田市)「花びら」 小金沢 光明(甘楽郡)「散春」 松村正子(佐波郡)「春衣」 埼玉県 篠崎正一(本庄市)「山桜」 宇佐美 清(浦川市)「あし原を彩る桜」 神奈川県 荒新康雅(横浜府)「桜に霧中です」 中里 弘(相模原市)「雪桜」 小島武次(相模原市)「春の雪冷え」 山梨県 沢登達也(中巨摩郡)「夜桜満開」 長野県 小池英彦(須坂市)「Snow Caps」 新潟県 須田孝子(柏崎市)「朝日のなかで」 静岡県 土屋敏彦(裾野市)「朝の光」 落合正和(清水市)「春の訪れ」 山梨英昭(焼津市)「夕暮れ」</p> | <p>愛知県 小川富士雄(尾張旭市)「朝陽をうけて」 壁谷健一(豊川市)「ふるさと」 伊藤紀生(岡崎市)「陽春」 滋賀県 奥 龍夫(甲賀郡)「陽の差す丘」 大阪府 細野勝之(泉大津市)「野にも春」 兵庫県 萩原正良(三木市)「古城の春」 笠置克己(姫路市)「花影」 奈良県 北 好雄(吉野郡)「悠遠(サクラフジ)」 楠田光信(福原市)「盡妙」 南本 健(磯城郡)「朝の光」 山本政光(桜井市)「雨あがりの葉桜」 生野末次(北葛城郡)「山桜散華」 広島県 原田謙一(廿日市市)「散花」 三田圭祐(大竹市)「夢桜」 塚崎英俊(福山市)「桜吹雪」 吉本彰彦(因島市)「宵桜」 山口県 広田和夫(宇部市)「さくら月夜」 高知県 武内秀一(高知市)「静夜桜」 栗山靖夫(安芸市)「美しくき天然」 福岡県 佐野 格(福岡市)「春夜」 木下ます子(福岡市)「サクラメール」 佐賀県 中野春義(佐賀市)「夕暮の桜」 宮崎県 大山英広(日向市)「金の桜」</p> | <p>群馬県 佐藤 進(渋川市)「うめその」 埼玉県 黒澤 昭(秩父市)「春雪に、たえて」 武藤泰久(秩父郡)「花とメジロ」 神奈川県 武藤 滋(秦野市)「ツインのカラー」 山梨県 佐野 進(南巨摩郡)「菜の花、咲いて」 新潟県 駒形政則(白根市)「春の朝」 福井県 大南栄男(敦賀市)「水辺彩どる」 静岡県 山下善寛(浜松市)「春の情景」 愛知県 天草定男(名古屋市)「光彩」 滋賀県 岡田定幸(甲賀郡)「森の妖精」 大阪府 丸山トシコ(吹田市)「花の中へ」 佐々木弘夫(堺市)「黄金の輝き」 兵庫県 福井博三(加古川市)「カキツバク咲く頃」 高知県 小林恒弘(高砂市)「霧の古城跡」 奈良県 沢木 仁(香芝市)「春が来た」 和歌山県 大川三由起(那賀郡)「優麗」 鳥取県 吉岡直樹(磯川郡)「レンゲ畑の理沙」 岡山県 山崎 稔(玉野市)「朝霧のおくりもの」 黒瀬邦彦(上房郡)「春よ来い」 桑木道夫(小田郡)「花映」 広島県 下瀬隆幸(広島市)「清流の楽園」 花田利美(広島市)「湿原に咲く」 古谷重幸(広島市)「散花模様」 高重道教(広島市)「雨上がり」 愛媛県 牛頭哲哉(東予郡)「深山に咲く花」</p> | <p>ネガカラープリント 一般の部(20名)</p> <p>北海道 むらうちかつお(山越郡)「菜の花の丘」 古平文男(三笠市)「谷川の黄色花」 群馬県 宮崎正道(新田郡)「菜の花に誘われて」 谷島 孝(前橋市)「歌声は春風に乗って」 埼玉県 高橋鉄雄(入間郡)「春の茶席」 齊藤芳明(大里郡)「蜜を求めて」 東京都 能登正俊(府中市)「紅梅」 長野県 久保村 勝(伊那市)「山国の春(B)」 大島市部(会津若松市)「桜模様」 静岡県 杉山典之(浜松市)「春がきたね」 愛知県 松島秀夫(名古屋市)「春・ホビー・春」 三重県 石田一三(上野市)「水面に咲く」 大阪府 奥村忠征(八尾市)「朱門」 兵庫県 石山恵三(神戸市)「紫の乱舞」 奈良県 鹿谷正男(生駒市)「花しようぶ」 岡山県 光畑雅之(岡山市)「薫として…アユリス」 佐々木 進(岡山市)「花模様」 山口県 三好政夫(宇部市)「石に花飾り」 香川県 石川満雄(三豊郡)「花に翔」 高知県 海地和代(土佐市)「菜の花と子供達」 福岡県 堤 甲(北九州市)「ヒヨドリ」</p> |
|---|--|--|--|

リバーサルプリント 一般の部(30名)

- 北海道
阿部美智代(江別市)「よい風景」
若手県
菊池唯乃里(盛岡市)「手を取りあって」

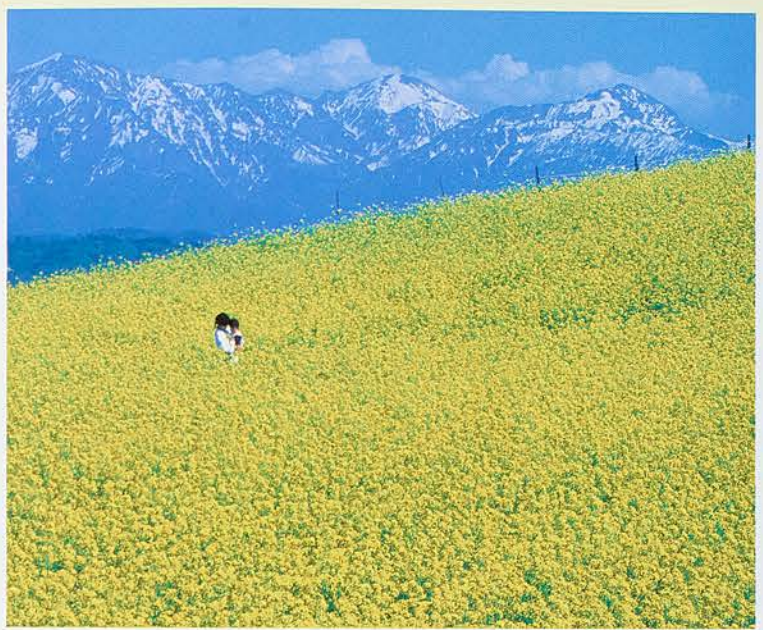
入選 全部門共通 記念品(3千円相当) (150名)

- | | | | | |
|--|---|---|---|--|
| <p>北海道 安田清次(函館市)「夜の浮島」 石島 忍(函館市)「水辺の春」 青森県 工藤ひろし(弘前市)「茶席」 安井牧子(弘前市)「art」 北向善光(上北郡)「二人の春」 鹿内 豊(青森市)「花雪」 小井田 和虎(八戸市)「雪を割って」 鹿内昭昭(南津軽郡)「五月月れ」 岩手県 堤内安男(盛岡市)「やと春」 杉浦 学(盛岡市)「桜の河」 伊藤 栄(岩手郡)「丘に咲く桜」 秋田県 斎藤幸隆(湯沢市)「ニリンソウとクモ」 川村康之(湯沢市)「早春の輝き」 照井作太郎(湯沢市)「スイセン」 山形県 石沢孝太郎(山形市)「満開の下で」 阿部直美(山形市)「春の一時」 富樫辰也(山形市)「春爛漫」 大道寺 市三郎(長井市)「想う」 福島県 佐久間 陽也(福島市)「惜しむ春」 茨城県 小澤正美(ひたちなか市)「石壁散花」 青木ひろし(ひたちなか市)「巨桜」 栃木県 伊沢正浩(下都賀郡)「光へ!」 引関平男(足利市)「夕影」 丸山幸樹(佐野市)「これからどこへ」 群馬県 須崎 進(佐波郡)「古木の輝き」 松村昭人(佐波郡)「朝陽に映える」 斎藤 晃(太田市)「山桜」 高草木 英機(太田市)「げげげ」 阿部光男(館林市)「春の園」</p> | <p>石井 稔(桐生市)「朝」 須藤東二(前橋市)「祭りの女」 埼玉県 峯 裕和(川越市)「春雪」 三橋幸子(鶴ヶ島市)「未来」 森 清治(鶴ヶ島市)「朝陽を浴びて」 本田ひろみ(上尾市)「けう」 森 裕良(上尾市)「ファンタジー」 吉野浩司(行田市)「桜日和」 村山千春(幸手市)「春模様」 有福弘夫(北埼玉郡)「指定席」 巻島秀男(久喜市)「夕暮れ」 小林紀久夫(草加市)「惜春」 記島裕司(上福岡市)「夜風に揺られて」 西浦良一(さいたま市)「惜春」 千葉県 田中 聡(長井市)「視線」 伊藤達夫(長生郡)「ささやかな宴」 碓屋幹子(千葉市)「紅梅」 東京都 岡本喜佑(町田市)「枝垂れ、屋下り」 高柳和子(国分寺市)「春風に舞う」 川畑由美子(福生市)「微笑み」 品川明雄(日野市)「月夜の宴」 今井都彦(八王子市)「桜花散る」 宮森義雄(東村山市)「雨の公園」 神奈川県 鈴木祐治(愛甲郡)「花びら」 大塚正三(横瀬市)「白いばたん」 山口文男(足柄下郡)「春日」 高野好旦(海老名市)「透き通る花びら」 山梨県 中島久人(中巨摩郡)「雪華」 石原俊秀(中巨摩郡)「梅林」 長野県 青木俊夫(南安曇郡)「老桜ふんばる」 池田 豊(駒ヶ根市)「夕映えの高遠城址」 田尻勝博(長野市)「淡桜」</p> | <p>甲斐電一(小県郡)「青空に映る」 唐木武徳(伊那市)「春寒」 新潟県 藤井正樹(南蒲原郡)「山里に春」 宮崎 研(上越市)「幻想の夜桜」 中原一磨(新潟市)「満開の信濃川」 佐藤俊男(柏崎市)「フナ林の中のミス(シヨウ)」 山口県 林 祐彦(金沢市)「宵桜」 福井県 伊藤邦夫(坂井郡)「桜東る」 岐阜県 西部信行(関市)「春日和」 川村高司(本巣郡)「月光淡雲」 静岡県 鶴岡康裕(浜松市)「湖畔の早春」 富野光雄(浜松市)「山間のユリ」 鈴木保美江(浜松市)「優雅」 森上信名(浜北市)「幻の桜」 伊藤正義(浜北市)「ゆりの花園」 杉山元次(静岡市)「桜花映える」 愛知県 緒方祥一(瀬戸市)「夕景」 柴馬智太郎(瀬戸市)「春のデュエット」 山本昭明(尾張旭市)「陽春」 山田勝造(碧南市)「ほころぶ」 石田裕彦(春日井市)「しだれ雨」 杉浦伸寿(岡崎市)「弥生の空」 檀上純一(岡崎市)「華火」 山崎和美(一宮市)「春の舞」 樽松貞美(一宮市)「カクタリ満開」 竹下卓志(豊橋市)「風光る」 栗木信夫(名古屋市)「惜春」 木村幸弘(稲沢市)「見つめないで」 三重県 松本博之(四日市市)「霧演」 池田 豊(駒ヶ根市)「夕映えの高遠城址」 富田千恵子(上野市)「古梅」</p> | <p>島田良平(伊勢市)「松尾川の桜」 滋賀県 近藤泰夫(長浜市)「惜春の花枝」 京都府 巖 春昭(八幡市)「川面」 中島直美(京都市)「春おぼろ」 田中祥史(京都市)「遊泳」 磯野浩孝(京都市)「花線」 太田喜代次(宇治市)「暮れゆく梅林」 三沢典典(城陽市)「春の湖畔」 本合達雄(舞鶴市)「乱舞」 大阪府 辻本義明(東大阪市)「幽谷風雅」 矢野高広(枚方市)「春うらら」 土屋孝司(大阪市)「満天の桜花」 兵庫県 大塚幸枝(西宮市)「水ぬも頂」 坂本忠俊(姫路市)「幻想」 小寺 啓司(姫路市)「姿可憐」 渡辺俊幸(龍野市)「落花」 正条久志(尼崎市)「グー・チョキ?・ハッ!!」 兵庫県 中川リエ子(榎原市)「春の天使」 忍内敏三(桜井市)「春宵」 南田至啓(天理市)「ゆらめき」 大庭真治(奈良市)「梅香」 本田レレン(生駒市)「サクラ シルエット」 和歌山県 古角民夫(東牟婁郡)「花の宵」 鳥取県 山本清恵(鳥取市)「春に映る」 島根県 宮本琢真(隠川郡)「2人仲良く」 岡山県 岡崎義昭(岡山市)「春雨に濡れて」 広島県 石井邦男(広島市)「青空に映える」 村上 晃(尾道市)「おぼろ月夜とそよ風」</p> | <p>井上敬弘(尾道市)「除中菊咲く頃」 金尾富士子(福山市)「椿咲く頃」 山口県 平岡 徹(岩国市)「静寂の宴」 田中利宏(玖珂郡)「春霞」 花野千里(大島郡)「ナルシスト」 坂根博親(宇部市)「雨模様」 岡本 健(山口市)「藤花清流」 徳島県 吉村定雄(麻植郡)「雄々と」 岸田立身(麻植郡)「幻想梅」 大浦孝悦(板野郡)「風のいたづら」 日下芳治(板野郡)「樹肌」 杉本正利(徳島市)「紅梅にメジロ」 高野作男(鳴門市)「雨あがりの朝」 喜多昌弘(阿南市)「ゆきした」 香川県 小野田 謙(丸亀市)「滝に映える」 上高幸弘(高松市)「夢の桜」 平柴 徹(坂出市)「岬の花里」 大島巨一(仲多度郡)「瀬戸の春」 愛媛県 岸 悦司(宇摩郡)「春風」 高知県 横山幸代(高知市)「早春の池面」 福岡県 安河内 征晴(福岡市)「春輝ひ」 長 吉秀(福岡市)「早春」 熊本広志(福岡市)「渓谷の春」 白土洋次(古賀市)「水辺の春」 鬼木敬子(糟屋郡)「葉の雅」 大坪正勝(甘木市)「牡丹」 溝尻和幸(久留米市)「春の雪」 熊本県 高森昭造(熊本市)「白い長髪」 遠山節雄(熊本市)「青空に映える」 大分県 佐知一彦(中津市)「冬の造形」</p> |
|--|---|---|---|--|

※敬称は略させていただきます。

第9回全国春の花フォトコンテスト 入賞作品発表!

主催：カメラのキタムラ 協賛：コニカ株式会社
応募総数 約19,000点 第9回「全国春の花フォトコンテスト」に、今年もたくさんのご応募ありがとうございました。約19,000点の応募総数の中から見事に入賞された方々の作品を、ここに発表させていただきます。



グランプリ 「黄色のメルヘン」
下條文明(新潟県柏崎市)

全部門共通 賞金30万円と楯(1名)

寸評：雪山と菜の花の対比で春が来た喜びがよく伝わってきますし、人物を小さくすることでスケール感も出ています。ピントを全体に合わせることで、ダイナミックな風景の中にもさわやかな空気感が感じられる、質の高い作品です。

しもじょう ふんめい / 1952年新潟県生まれ。以前より写真には興味を持っていたのだが、初めてカメラを購入したのは5年前。以来、地元の新潟県内を中心に、風景や花の写真撮っている。当初は35ミリ一眼レフを使用していたが、今年、待望の中判カメラを購入。この受賞作品も中判で撮ったもの。菜の花畑には人が多くいたので、フレームに母子だけが入るまで、シャッターチャンスを持って撮った。フォトコンテストの応募はこれが初めて。今回思い切って応募したところ、見事グランプリを受賞。

特選 賞金20万円と楯

リバーサルプリント 桜の部(2名)



「春爛漫」矢崎一路(長野県岡谷市)
「桜の下で」鈴木 弘(静岡県浜松市)
「藤の波」山崎 泰(栃木県下都賀郡)
「シャボン玉 ブー」鳥井原 博美(愛媛県新居浜市)

ネガカラープリント 桜の部(2名)



「夜風にさわく」今村恭一(福岡県鞍手郡)
「巨木」川野 学(福岡県嘉穂郡)

総評：今回の応募作品では、傾向として作為的な写真よりも、自然の中で気持ちよく撮った写真が多く応募されてきたように思います。また、空気感を表現している作品も多く見られました。今年は桜が咲いてから雪が降った地域もあって、そうした天候の変調から、今までにない幻想的な作品もいくつか見られましたし、もちろん、天候に恵まれた地域からは青空を背景に、見事な桜の作品が応募されてきました。結果的にバラエティに富んだコンテストとなり、今更ながら日本の気候の多様さ、広さに感心しています。桜以外の花もバリエーションが増え、ますます選びがいのある楽しみなフォトコンテストになってきたと思います。次回も今回以上の様々な春の作品が応募されてくることを期待しています。

審査員 三好和義氏

みよし かずよし ● 1958年徳島生まれ。東海大学文学部卒業。'86年木村伊兵衛賞を受賞。'91年から屋久島に通い、日本人と自然との関わりを意識しつつ、屋久島を撮り続けている。'99年、外務省が「日本の世界遺産」の作品540点を買上げ、国際交流基金「THE JAPAN FOUNDATION」により、世界各国を巡回展覧。2000年、写真集「屋久島」を出版。その他写真集は多数。「アサヒカメラ」月例コンテスト審査員。

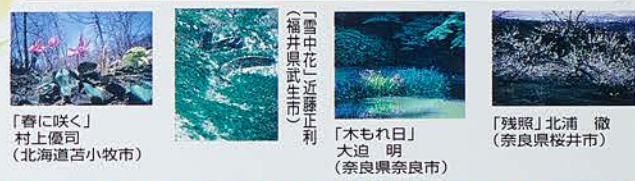
今回の審査風景

準特選 賞金10万円と楯

リバーサルプリント・桜の部(4名)



リバーサルプリント・一般の部(4名)



ネガカラープリント・桜の部(4名)



ネガカラープリント・一般の部(4名)



ビデオカメラで運動会を撮ろう!

秋は運動会の季節! 元気なお子さまたちがグラウンドでキラキラ輝きます。
最近、扱いやすくなったビデオカメラで、お子さまたちの決定的瞬間を狙ってみませんか。
お父さま、お母さまの日頃の撮影の腕の見せ所です。
そこで今回は、ビデオカメラで撮る運動会の撮影ポイントを、いくつか紹介いたします。

ビデオのよさは、何と言ってもお子さまの愛らしい動きや声をそのまま記録できること。写真に比べると比較的シャッターチャンスを気にせずに撮影することができます。とは言うものの、実際に撮影してみると思った通りにはなかなか撮れないもの

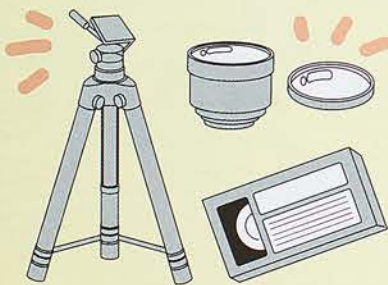


にいるのかわからない、といった状況もよくあります。お子さまを捜しているうちに競技が終わってしまった、なんてこともありません。事前情報はできるだけ集めておくようにしましょう。
また、いったん競技が始まってしまうと、

運動会では子供たちは様々なアクションを取ります。このような状況では一瞬のチャンスを撮り逃すと、後からお子さまに恨まれてしまうこともありません。まずは撮り逃しのないように、プログラムをよく読んで、自分の子どもがいつ、どの競技に出るのかを確認しておきましょう。
会場では同じような背丈の、同じ格好をした子供たちが集まっているので、自分の子どもがどこに

プログラムは必ず事前にチェック! 撮影ポイントの確保が大事!

備品のチェックも忘れずに



三脚やフィルター、コンバージョンレンズなどの備品も忘れずにチェック。予備のテープも用意しておきましょう。

バッテリーの充電



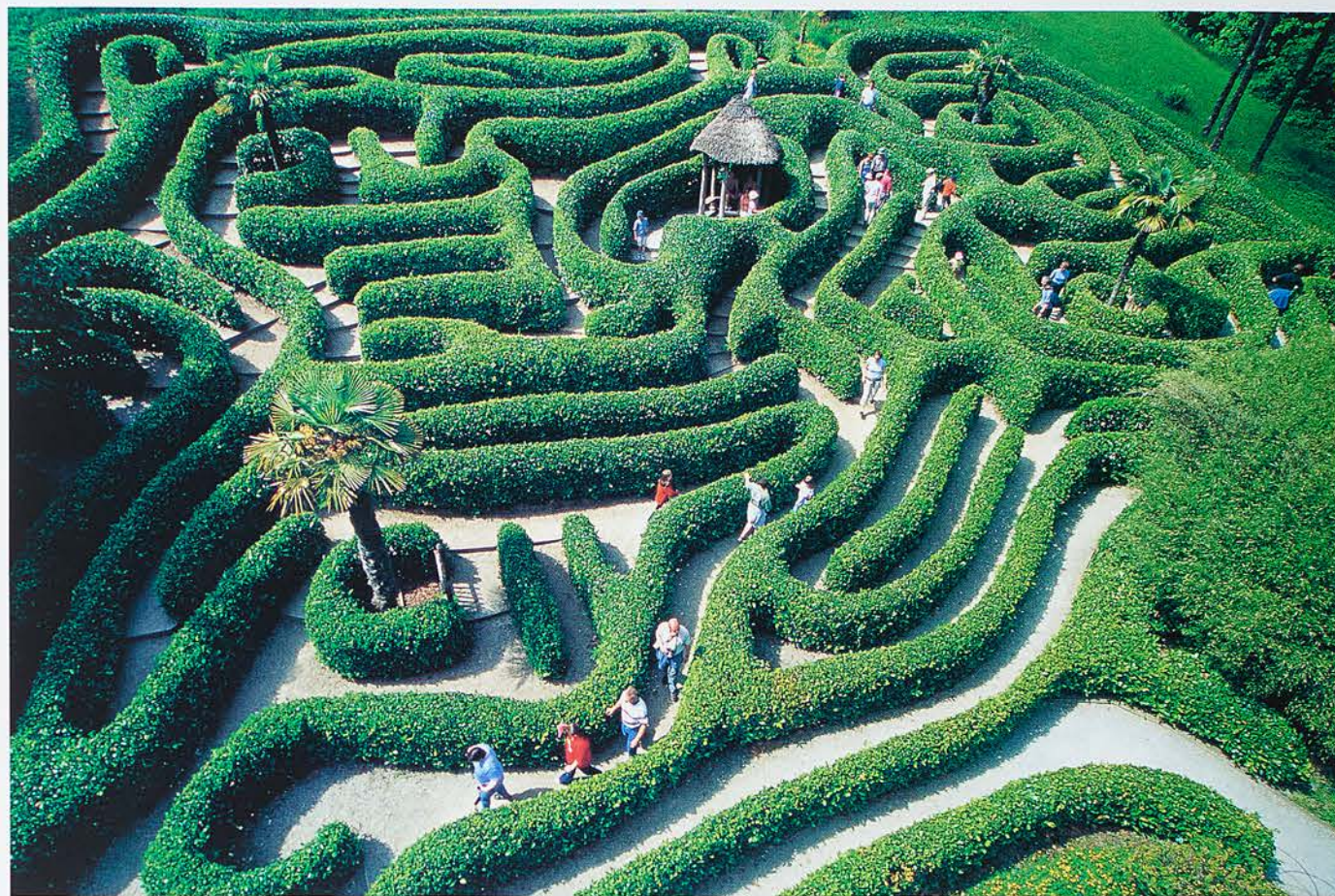
念のために予備のバッテリーも持っていきましょう。予備バッテリーにも充電が必要です。忘れずに充電しておきましょう。

プログラムのチェック

| | |
|--------|---------|
| スケジュール | 障害物競走 |
| 入場行進 | 昼食 |
| 開会式 | 玉入れ |
| 徒競走 | リレー |
| 玉転がし | フォークダンス |
| ダンス | |

お子さまが出場する競技には印をつけたり、撮影時の注意事項を書き込んでおくとう便利です。

はしゃぐ子供たちで場内では混乱も多く、じっくりレンズを向けている暇はありませんし、他の親御さんたちが観戦する邪魔にもなりかねないので、移動もままなりません。慎重に撮影ポジションを検討し、早めに場所を確保するようにしましょう。



©Photography by Jonathan Blair. Taken at the Glendurgan Garden, Cornwall, England. Courtesy of The National Trust.

OUR WORLD

景観という文化遺産を、写真で守り、伝えたかった。英国・コーンウェルにて。
Jonathan Blair / 1941年、米国・ペンシルバニア生まれ。ロチェスター工科大学に学び、芸術の学位を取得する。ナショナル・ジオグラフィック・マガジンに35年以上も寄稿。自然史写真、海中写真の分野でも活躍を続ける。
撮影データ: シグマ15-30mm F3.5-4.5 EX DG ASPHERICAL, 1/160秒, F11

ジョナサン・ブレアが世界を撮ったとき、手にしていたレンズはシグマだった。



●AF希望小売価格(税別):
89,000円・ケース付
シグマSA用、キヤノンEOS用、ニコン用、
ミノルタ用、ペンタックス用

植木でつくられた迷路。子供も大人も、巨大なパズルに挑み、遊ぶ。その全景を捉えたのは、シグマが初めて登場させた、15mmからの超広角ズーム。最短撮影距離30cm。非球面レンズの採用で、ディストーションをはじめ各収差を良好に補正。DF (Dual Focus) システムの採用で、AF撮影時のホールディング性が向上。遮光効果にすぐれた固定花形フードを装備しています。

レンズ交換式デジタル一眼レフカメラにも対応。15mmからの、初めての超広角ズームレンズ。

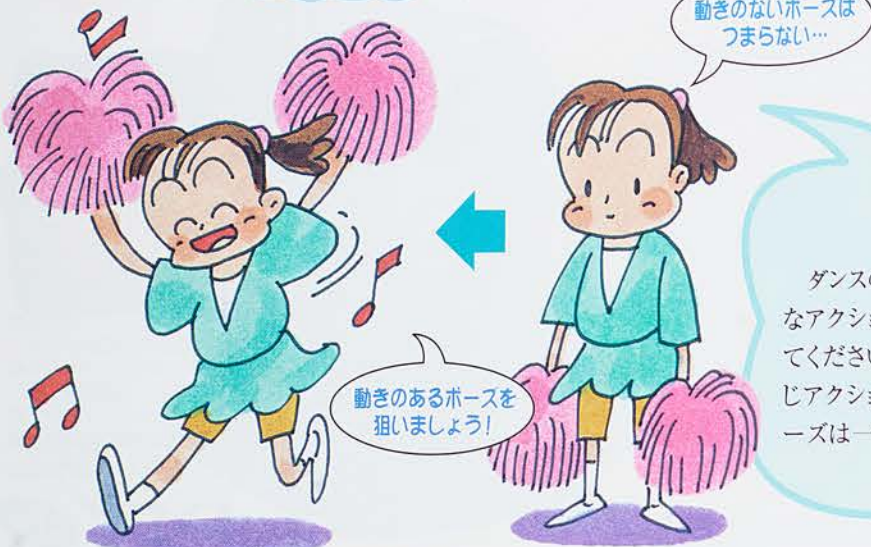
SIGMA 15-30mm F3.5-4.5 EX DG ASPHERICAL

お問い合わせは、株式会社シグマ 〒201-8630 東京都狛江市岩戸南2-3-15 tel. 03(3480)1431まで。シグマ ホームページアドレス <http://www.sigma-photo.co.jp>

ビデオカメラで運動会を撮ろう!

運動会—こんなシーンはここがポイント!

運動会では様々な競技が行われ、それぞれの競技にはそれぞれ違った撮影のポイントがあります。思い出をあざやかに記録するためにも、ポイントを逃さないようにしましょう。



ダンス

ダンスのときは側に寄れないので望遠でアップを狙いましょう。様々なアクションをとりますので、ファインダーから逃さないように注意してください。また、たいいていの踊りには動きにパターンがあるので、同じアクションを何度か繰り返しますので、これと思った印象的なポーズは一度目が失敗したなら、焦らずに二度目を狙いましょう。

入場行進

お子さまを見逃しやすいシーンですので、注意深く撮影しましょう。また隣のお子さまと接近しているので望遠でアップで狙うといいでしょう。プロローグとしてお子さまのクラスが入場する全体シーンもおさえておくといいでしょう。



玉入れ

玉入れはとても難しい被写体です。引いて撮ると人が集まって何かをしているだけの、わけのわからない絵になりかねません。また、背景がうるさいと玉が判りづらくなります。

なるべく玉入れの側に寄って、低いアングルから空を背景に狙うと、玉も捉えやすくなりますし、スケール感も出やすくなります。活発に動き回るお子さまを見逃さないようにしましょう。



障害物競走

この競技は、障害のそばがシャッターチャンスになります。身をかめたり、ジャンプしたり、できるだけアクションが大きくなる障害を選んで狙った方が絵になるでしょう。

いくつかの障害を選んで、お子さまを追うのではなく、障害から障害を狙うようにすると、比較的まとまりやすくなるでしょう。



徒競走

かけっこは運動会の花形です。この競技ではお子さまは思いっきりスピードを出して走っていますから、その一瞬を狙うポジショニングが大事になります。トラックの周辺ではお子さまはあつという間に通り過ぎてしまい、後はお子さまのお尻だけを撮ることになりかねません。

ゴール前の直線を正面から狙うのが代表的な撮影ポイントです。お子さまの姿を追って撮りたくなりますが、手ブレが起きやすくなりますし、場合によってはお子さまを画面から逃してしまうことも考えられますので、レンズを動かさずに撮れる直線コースの正面狙いは貴重です。

学校によってはゴール前にカメラを据えられないところもありますので、事前にチェックしておきましょう。また、先にゴールした子供たちで混乱しやすい場所もあるので、競技の邪魔にならないように、撮影には十分に注意しましょう。

ゴール前が狙えない場合は、競り合いの緊迫感が出やすいトラックのコーナーなどがお勧めです。



昼食

後で編集するときにアクセントになりますので、できるだけ楽しさ、なごやかさを引き出すように心がけて撮影しましょう。家族全体の引きと一人一人のアップの他、料理なども撮っておくと良いでしょう。



玉転がし

玉転がしなどでは大きな玉が障害になって、ポジションによってはお子さまが見えなかったり、背中しか撮れなくなることもあります。往復で転がす場合が多いので、往路で逃しても、慌てずに復路のチャンスを待ちましょう。

徒競走と同じように、直線の正面と折り返し点が比較的狙いやすいでしょう。



二人三脚 ムカデ競走 パン食い競走

これらの競技はどれもアクセントとして楽しさを盛り上げてくれます。他の競技のようにポジションらしいポジションというのはありません。倒れてもつれているところや、パンが取れなくて困っているところなどは絶好のチャンス。手振りの望遠で表情を逃さないようにしましょう。



ビデオカメラで運動会を撮ろう!

SONY DCR-TRV17K

スタミナ連続撮影11時間35分*に加え、
便利な電源キットも付属。

- ※別売NP-QM91使用時/液晶モニターOFF・ビューファインダーON時
- 描写性能に優れたカール ツァイスレンズ搭載。
- 高画質で暗い場所でもきれいに撮れる68万画素 CCD&アドバンスドハードテクノロジー採用。
- 高倍率ズームでもブレの少ない新アクティブイメージ エリア方式手ブレ補正機能。
- オリジナル作品づくりに便利なインターバル録画機能&コマ 撮り機能搭載。
- "メモリースティック"にMPEG1方式で音声付き動画記録。
- USB端子搭載。別売のDPCK-US10Aを使用して、パソコンに高速データ転送。



メーカー希望小売価格
オープン

SONY DCR-TRV30

世界初*155万画素メガピクセルCCD&
新開発14ビットDXPで、動画も静止画も高画質。

※2001年2月広報発表時、民生用ビデオカメラとして。(ソニー調べ)

- 総画素数155万画素の高画質。
- 描写性能に優れたカール ツァイスレンズ搭載。
- 新開発14ビットDXP採用で、よりきめ細かな描写。
- 1,360×1,020ドットの大ききれいな静止画。
- スタミナ連続撮影7時間55分(別売NP-QM91使用時/液晶モニターOFF・ビューファインダーON時)。
- 暗い場所の静止画撮影にインテリジェントフラッシュ搭載。
- "メモリースティック"にMPEG1方式で音声付き動画記録。
- USB端子搭載。別売のDPCK-US10Aを使用して、パソコンに高速データ転送。



メーカー希望小売価格
オープン

※本機をお使いになるには、別売のアクセサリキット ACCKIT-QMM7 メーカー希望小売価格33,500円(税別)またはACCKIT-QM7P メーカー希望小売価格58,500円(税別)が必要です。

思い出の一枚は、 さらに美しいプリントで!

現在では家庭用のプリンターの性能もかなりアップしてきました。しかし、思い出の写真となると、やはり特別に美しいプリントで残したいもの。

カメラのキタムラでは各種メディアをお持ちいただくだけで、すぐに美しいプリントが仕上がります。

※詳しくはカメラのキタムラ店頭でおたずねください。

また、パソコンからインターネットを使ってのプリント注文も承っております。これを機会に、とっておきの一枚を、是非キタムラでプリントしてください。



手軽にプリント。
静止画を加工して
楽しい写真葉書を作ったり、
シールもプリントできます。



動画は動画編集の
アプリケーションを使って
ラクラク編集。



せっかくの記録もただ撮ったままでは何にもなりません。思い出はホットなうちにまとめるようにしましょう。運動会に行けなかったおじいちゃんやおばあちゃんがいるのでしたら、ビデオレターにして送ると、きっと喜んでいただけるはず。ぜひ実行してみてください。

思い出は、 忘れないうちに まとめてみましょう!

電子メールで
おじいちゃんやおばあちゃん、
友人知人にも動画や静止画が送れる。



Canon IXY DV

コンパクトでスタイリッシュな
メタルボディに高画質性能。

- 超小型光学10倍ズームレンズ搭載(デジタルズーム最大40倍)。
- 色再現性に優れたRGB原色フィルター採用。
- 秒間30コマの高速連写ができるプログレッシブスキャン CCD搭載。
- マルチメディアカード対応。
- 必要な声だけ撮れる3エレメント新方式のステレオマイク搭載。
- アップで撮っても美しい手ブレ補正機能(イメージスタビライザー)搭載。
- 最長3時間20分の長時間連続使用(別売りバッテリーパックBP-422使用時/ビューファインダー使用時)。
- DV端子(IEEE1394準拠)搭載。

※本機をお使いになるには、別売のアクセサリキットAK-410 メーカー希望小売価格20,000円(税別)が必要です。



メーカー希望小売価格
210,000円(税別)

IXY DV

Canon FV100KIT

コストパフォーマンスにこだわり、
アクセサリキットもセット。

- 最長9時間15分の長時間連続使用(別売りバッテリーパックBP-535使用時/ビューファインダー使用時)。
- 光学10倍高性能キヤノンズームレンズ搭載(デジタルズーム最大200倍)。
- アップで撮っても美しい手ブレ補正機能(イメージスタビライザー)搭載。
- 独立フォトボタンでカンタン静止画記録。
- DV端子(IEEE1394準拠)、アナログ入力機能搭載。



メーカー希望小売価格
145,000円(税別)

撮レビアン

DIGICAM



メーカー希望小売価格
オープン

Panasonic NV-DS88K

機能充実で多彩な入出力を装備。

- 光学12倍ズーム&68万画素CCD搭載で、快適操作の瞬時スタート・瞬速ズーム。
- SDメモリーカード&マルチメディアカード対応。
- USB接続用端子、DV端子(i.LINK)、デジタル静止画端子、AV入出力端子など、パソコン対応の豊富な入出力を装備。
- 風音だけをノイズとして検出し、低域での音質劣化を大幅に抑える新風音低減機能「ウィンドNR」搭載。

※液晶画面はすべて、ハミ込み合成によるイメージです。
※オープン価格商品の価格は、各キタムラ販売店にお問い合わせください。



メーカー希望小売価格
オープン

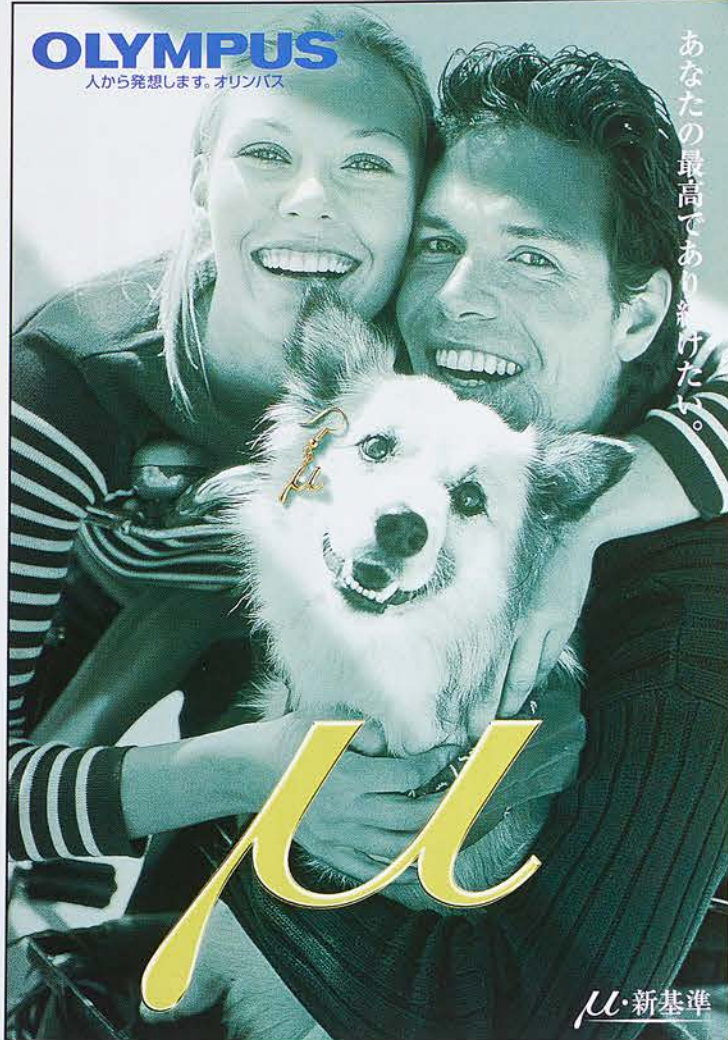
Panasonic NV-MX2000

高解像度と高感度を実現する
3CCDカメラシステムを搭載。

- 動画有効114万画素、静止画168万画素。メガピクセル対応で細部も鮮明、奥行きも忠実に記録。
- SDメモリーカード&マルチメディアカード対応。
- 別売のVW-PMX20を使用して、パソコンに高速データ転送。
- ライカの描写力で味わい深い映像表現を実現するライカディコマーレンズ搭載。

※本機をお使いになるには、別売のアクセサリキットVW-PMX20 メーカー希望小売価格30,000円(税別)が必要です。

OLYMPUS
人から発想します。オリンパス



あなたの最高であり、
最高の瞬間を捉えたい。

あの美しいムーに、
超高倍率170ミリズームを
搭載しました。



- エレガントなフォルムで迫力の170mmズーム。
- 高画質を約束、「EDレンズ」採用。
- 2つのオートフォーカス機構でシャープなピント。
- 「撮れた!」がわかるピジュアルファインダー搭載。
- 雪や水しぶきも安心の生活防水付。

美しさだけでも、機能だけでもない。

μ [mju:] II 170VF

希望小売価格(税別) ¥50,000 (リモコン・ソフトケース・ストラップ付)

Visual Uniqueness
EVAFPA エー・エフ・エー

撮る快感、
MZ-S。

PENTAX



撮影主義AF一眼

MZ-S

MZ-Sボディ(ブラック/シルバー)
希望小売価格(税別).....135,000円
FAズーム24mmF3.5~90mmF4.5AL(IF)付
希望小売価格(税別).....194,000円

- ◎コントロールパネルを30度傾斜させた斬新なボディ形状
- ◎堅牢なマグネシウムダイキャストの外装
- ◎質感のよい小型軽量ボディ
- ◎電子コントロールに、アナログの見やすさ使いやすさを加味した操作系
- ◎フィルムのパーフォレーション間に撮影データが印字可能
- ◎最高1/6000秒、シンクロ1/180秒の高速シャッター
- ◎暗いところでのレンズ交換を容易にするマウント指標照明
- ◎19項目のペンタックスファンクション
- ◎縦位置のホルルト性にすぐれたバッテリーグリップなど多彩な専用アクセサリを用意

旭光学工業株式会社 ペンタックス販売株式会社

◎この商品のカタログはペンタックスのホームページでご覧になれます。 <http://www.pentax.co.jp/>
◎製品についてのお問い合わせは、お客様相談室へ。03(3572)6479

◎カタログご希望の方はハガキで、必ず機種名を明記のうえ、
〒100-8692 東京中央郵便局私書箱895号 ペンタックス販売(株)カタログ係へ

三好和義 写真展

砂の楽園・水の楽園
—サハラから屋久島へ—

主催：東京写真文化館 協力：新藤美術印刷株式会社



カメラのキタムラ主催の「全国春の花フォトコンテスト」で審査をお願いし、またこのフォトライフ四季にも、たびたび特集で取り上げさせていただいている三好和義先生が、只今、東京写真文化館で、夏休み特別企画として三好和義写真展「砂の楽園・水の楽園—サハラから屋久島へ—」を開催しています。

先生はこれまでタヒチ、モルディブ、アフリカ、インドなど、おもに南の島に取材し、「楽園」をテーマに写真を撮り続けてこられました。また近年は南極やヒマラヤなど、世界各地で撮影を行う一方、美しい四季に恵まれた日本の中にも「楽園」を見出し、撮影をされています。

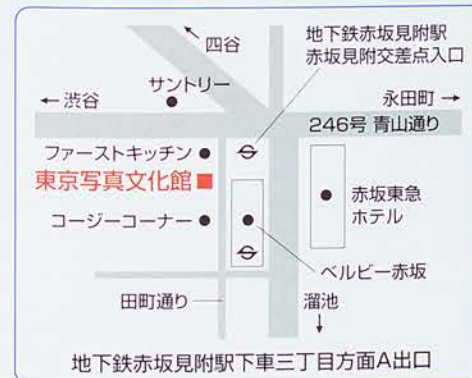
今回の写真展では、先生が地球上で最も過酷であり、最も美しいと感じたという「砂の楽園・サハラ砂漠」と、日本人としての

自然とのかかわり、魂のふるさとを求めたどりついたもうひとつの場所である「水の楽園・屋久島」の作品60点が、先生自らのセレクトションにより展示、紹介されています。

灼熱の太陽に赤く照らされ吹き抜ける風により、日々変化をとげる砂漠。また、水と光の恩恵により深々とした緑に彩られ、永い年月を経て力強く成長した樹木。この対照的な二つのテーマを、人間の介在していない自然によって表したこの写真展を通して、訪れた方々は先生の求める「楽園」の意義とともに、自然の重要性、そして美しさを再認識できることと思います。

読者の皆さんも、これを機会に、ぜひ三好先生の求める壮大なスケールの「楽園」を、その目でお確かめください。

- 会 期：平成13年9月16日(日)まで
毎週月曜日休館(祝祭日の場合は翌日休館)
- 会 場：東京写真文化館4階 TPCCメインギャラリー
- 開館時間：11:00am~7:00pm 土休日6:00pmまで
最終入場は閉館30分前まで
- 入 場 料：大人650円 学生600円
毎週水曜日は優待日(入場料350円)



東京写真文化館

東京都港区赤坂3-9-1 紀陽ビル4階(赤坂見附駅 徒歩1分)
TEL. 03-3505-2335 FAX. 03-3505-0288

※このページに掲載した写真は、すべて三好先生の作品です。

もうご存知ですか? インターネットプリントサービス

あなたの写真生活応援サイト
kitamura.co.jp
 見る! 知る! 買う! 知る! 仲間ができる!

デジカメで撮影した画像が、パソコンからインターネットを使ってプリント注文できます! ご家庭のプリンターでは真似のできない高品質な銀塩プリントの美しさを、ぜひ一度お試しください。自慢の一枚はインターネットプリントで!

6 クリエイティブ
 ポストカードやカレンダープリント、大伸ばしプリントも、インターネットでご注文いただけます。パソコンで加工したデータを使った、あなただけのオリジナル作品作りをお手伝いいたします。

5 安心のネットワーク
 仕上がったプリントのお受取りには、全国565店を超えるカメラのキタムラの、お好きな店舗の店頭をご利用いただけます。代金はプリントにお受け取り時にお支払いいただけますので、安心です。

4 便利
 自宅から、職場から、インターネットで24時間いつでもお好きなときに、デジカメプリントやポストカードプリントをご注文いただけます。

3 イライヤ解消
 家庭用のプリンターでは、出力待ちの時間にイライヤさせられます。ネットプリントで時間を有効に活用してください。

2 高品質
 デジタルミラボでプリントする銀塩プリントですから、家庭用のプリンターで出力するのに比べて圧倒的に美しく、また美しさが長持ちします。

1 低価格
 カメラのキタムラではネットプリントサービスも、プリント料金は1枚35円(DSCサイズ、サービス版Lサイズ相当)。しかも基本料金はいただきません!

カメラのキタムラ「ネットプリントサービス」

6つのポイント

ネットデジカメプリント
基本料金無料
 1枚 **35円**
 (DSC・Lサイズ)

RICOH

高次元の描写力。



GR1sの主な特長 ●GR LENS 28mm F2.8は、非球面レンズ採用、4群7枚オールガラスのマルチコーティングで優れた描写力 ●暗い状況下での撮影にとても便利な光る情報パネル ●逆光時の撮影に重要な本格的な花型フードを装備 ●ナチュラルな画像を生むディストーション性能の良さ ●ニュートラルな発色のCCI、分光透過率 ●高精度アソシエーション方式マルチオートフォーカス ●美しいボケ味のために考慮された7枚構成のレンズ絞り羽根 ●シンプルで明るいフライトフレームファインダー ●絞り優先AE ●露出補正ダイヤル ●主な撮影モード: フラッシュ強制発光モード(日中シンクロ/スローシンクロ可) ●フラッシュ発光禁止モード ●オートフラッシュモード ●遠景モード ●シングルAF(LV6以上中央重点測光)モード ●スナップモード ●フォーカス固定モード ●赤目軽減モード ●セルフタイマーモード ●タイムモード等

(ボディカラー: ブラック/シルバー)
 ●メーカー希望小売価格(フード・革ケース込)
 GR1s ¥95,000(税別)
 GR1s DATE ¥105,000(税別)

リコーカメラお客様相談窓口 リコーカメラについてご意見・ご希望がございましたら下記までご連絡ください。

〒104-0061 東京都中央区銀座6-14-7 株式会社リコー カメラサービスセンター内
0120-007962 ●受付時間 月曜から金曜/9:30~17:00
 ●土曜・日曜・祝日はお休みさせていただきます。

カメラのキタムラが 宅配便サービスを始めました!

仕上がったプリントを、お客様がユーザー登録されたご住所に、カメラのキタムラから宅配便でお届けいたします。代金はお届けしたドライバーに、直接現金でお支払いください。

宅配料金 本州・四国900円、沖縄・北海道一部地域1,300円
 ※ご注文金額が3万円以上の場合、配送料金を無料とさせていただきます。

フジカラーCDからでも注文できます。

①フィルム1本の全コマをお手軽価格でCD-RIに書き込みできます。
 ②CD-R1枚に、フィルム5本までOK!



くわしくは、カメラのキタムラ店頭で

くわしくはこちらへ!

キタムラのご案内 インターネットでお買い物 ご意見窓口

www.kitamura.co.jp

カメラのキタムラ企画 プロカメラマンが同行するフォトツアー

朝夕の光に輝くパゴダ・ミャンマーの風景と生活撮影

ミャンマー8日間



仏教の国ミャンマー。朝・夕の陽の輝きに映える仏塔パゴダ。農業の国ミャンマー。豊富な水の恵みに愛されたアジアの大地に、日本ではすでに失われてしまったおだやかで、のびやかな農村風景が、時が止まったかのように展開されています。そこで生活する個性豊かな民族の交響。ミャンマーはスナップの宝庫です。カメラのキタムラが企画するフォトツアー。今回はこの「朝夕の光に輝くパゴダ・ミャンマーの風景と生活撮影」を、読者の皆様にご紹介いたします。

午前中に関西空港を立ち、タイのバンコク経由で路ミャンマーへ到着。この日はヤンゴンへの首都ヤンゴンへ到着。この日はヤンゴンのホテルでゆっくりとおくつろぎいただき、長旅の疲れを癒してください。

二日目はヤンゴンよりヘーホーへ向かい、花咲くシヤン高原を撮影していただく予定です。このシヤン高原は少数民族の宝庫。黄色、白色の花に土の赤色が美しい高原を、独特の少数民族の衣装をまとった農作業帰りの人々が行き交う様子は、ミャンマーならではの被写体です。

この日はその後、インレー湖へ向かいます。水草が繁茂して浮島を形作る風光明媚なインレー湖では、船が日常的な庶民の足。特にインレー湖独特の足漕ぎ船はこの地方で見ることができません。

三日目は終日インレー湖を船でまわり、東南アジア独特の、水上マーケットや水上生活風景のスナップ撮影を、ゆっくりとお楽しみください。四日目はミャンマー




インレー湖の市場にて

五日目はバガンへ向かいます。バガンでは漆器の村を訪ね、工房の制作風景などを撮影した後、シャエサンドーパゴダで夕陽に輝く仏塔パゴダを、また翌日の早朝には、シャエグージー寺院で朝陽に輝くパゴダの撮影をご堪能ください。

六日目はバガン郊外の農村とアーナンダ寺院付近の門前町の賑わいを、スナップでお楽しみいただき、翌日ヤンゴンに戻って、活気溢れるヤンゴン市内の風景を狙ってください。その後、ヤンゴンを夜に発ち、タイ経由で日本への帰途に着きます。

カメラのキタムラならではの、撮影本意の企画です!

この全行程にわたって、撮影指導として写真家の大山謙一郎先生に同行いただきます。先生はコマリシヤルや女性写真の分野の第一線で活躍されています。また全国規模でアマチュアカメラマンの育成にも努められ、その楽しく、的確でわかりやすいご指導は定評があります。

ツアー中は大山先生の実践指導を受けられるのももちろん、先生のミニ写真塾も

朝夕の光に輝くパゴダ・ミャンマーの風景と生活撮影

大山謙一郎先生と行く

ミャンマー8日間

- 旅行期間: 11/4(日)~11/11(日) 7泊8日
- 旅行代金(お一人様): 248,000円(関西空港発)
- 一人部屋料金: 28,000円
- 募集人員: 先着25名様(最少催行人員10名様)
- 申込締切日: 10/4(木)

お問い合わせ・お申し込みは
 主催: 名鉄観光サービス(株) 梅田支店 国土交通大臣登録旅行業第55号(社)日本旅行業協会正会員
☎06-6311-2168 (月~土・9~17時)
 FAX.06-6311-6657 E-mail:ume3@osaka.mwt.co.jp 担当:水戸・吉留・池原

※撮影に重点を置いたご旅行ですので、ホテルの出発が早朝、到着が深夜となる場合がございます。又、当日の被写体の状況により、行程を変更させていただく場合がございます。

企画: (株)ラボネットワーク

フォトクラブ四季

- 設立 2000年4月1日
- 会員数 20名
- 活動 月1回の定例講習会、月1~2回の撮影会
- 場所 大阪府八尾市

フォトクラブ四季は、JPA(日本写真作家協会)会員で、数多くの団体、クラブ等を指導されている大塚武和先生のご指導のもと、2000年4月に発足いたしました。まだ日も浅く、会員数は20名ですが、風景写真を主体とした、美しい自然を愛する者たちの集まりです。

お互いにかたひじをはらず、和気あいあいと和やかな雰囲気、自然を見つめながら活動しております。

我々は太古の昔から地球という大地の上で、日々の営みを続けてきましたが、地球規模で自然破壊が進む昨今、写真を通じて自然の大切さを訴える一助になればと思っております。また、美しい山河、田畑などの風景写真を通じて、人々に感動を与え、人々の心を癒すことができるような作品ができればと願っております。

活動は近畿圏が主体ですが、ときには美しい豊かな自然を求め、遠くへ出かけることもあります。また、来年5月にはメンバーそれぞれが願いを込めた作品を持ち寄り、作品展を計画しています。

宮内利雄氏の作品「里山の桜」



渋谷栄氏の作品「初夏の彩り」



石津志津子氏の作品「雅(みやび)」

フォトクラブ 友・遊・You

- 設立 2001年4月1日
- 会員数 11名
- 活動 年4回の撮影会、及び定例会、講習会
- 場所 北海道釧路市

2001年4月に結成されたばかりのクラブで、年齢も職業もそれぞれですが、雄大な道東の自然が大好きな仲間達です。なにげない風景の中からカメラのレンズを通して、自然の大切さや生命の大切さを伝えていきたいというのが、会員の夢です。気の合った**友達同志、遊び**を通して、そしてそのあなた(You)も仲間に入りませんか! という意味で「友・遊・You」と命名しました。

活動は春夏秋冬と年4回ですが、季節ごとのテーマを決めて撮影会で腕を競い、定例会ではそれぞれが個性豊かな作品を持ち寄り、講習会にと移行していきます。

そんな和気あいあいの中、いつか私たちの写真展を開催することを目標として、それぞれが日々、技術の向上に努力しながら、一歩を踏み出したところです。



梅里 稔氏の作品「青寂」



菅原完司氏の作品「涼流」



中村文夫氏の作品「子狐々(ごんごん)」

ニューエイト

- 設立 1999年11月1日
- 会員数 10名
- 活動 月1回の定例会、隔月の撮影会
- 場所 静岡県浜松市

私たちニューエイトは蜂須賀秀紀先生の写真講座を受講した方々の中から、講座終了後に有志の同好会として発足しました。メンバーは全員60代で、写真を通してより多くの人たちとの交流をはかるとともに、お互いに切磋琢磨しながら健康で楽しい人生を送ることを目標として活動しております。

毎月の例会では、会員が持ちよった作品の中から先生が各自2点ずつを選び、1~3位までの順位を決定します。また、その他に会員が自選の作品1点を会員だけで審査し、投票でこれにも1~3位までの順位をつけ、それぞれに得点を与え、年間を通して累計したのに対して、総会の場で発表して、励みとしております。隔月で行っている撮影会のうち、年1回は親睦を兼ねた一泊旅行にしています。各種コンテストにも積極的に参加し、恒例となっている年1度の蜂須賀先生指導による、20グループが参加するフォトエッセー

に出品するための作品づくりに、全員ががんばっております。



鈴木しづ子氏の作品「ゆりの里」



木田敏信氏の作品「幻の光」



カメラのキタムラでは、今後も全国の写真クラブのみなさまをご紹介していきます。掲載をご希望の方は、お近くのカメラのキタムラまでお問い合わせください。



吉川 浩氏の作品「無題」

杏林大学 あんず写真愛好会

- 設立 2000年4月1日
- 会員数 10名
- 活動 月1回の定例会、年2回の撮影会、年1回の校内写真展
- 場所 東京都八王子市



杏林大学内で写真好きな人たちが結成された会です。技術面ではまだ未熟ですが、みんな励ましあって活動しています。事務所には会員たちの写真が展示してあり、ミニギャラリーとして楽しんでいます。

結成一周年を記念して、今年の7月に第1回校内写真展を開催しましたが、65点の応募があり、まずまずのスタートで、これを機会に写真に興味を持つ人が多くなるでしょう。

大学から10分位の所にカメラのキタムラあきる野/雨間店があり、

店長をはじめ、若い店員さんたちに親切に対応していただき、学生ともども、よく利用しております。

今後は学生写真部と共に活動し、合同写真展を行いたいと思います。

渡辺祥司氏の作品「睡蓮」



山下利夫氏の作品「春の大地」



小林庄三氏の作品「2001年初日の出」

感応する性能。 EOS 7。

Canon

カメラを構える。レンズを向ける。どうしても写真にしておきたい一瞬がある。
被写体を感じる閃きに、いままでになく鋭く応える、EOS 7 誕生。
高精度7点AFと最速視線入力との絶妙なコンビネーションによる小気味よさ。
使いやすく明快な操作系。しっくりと手になじむ高質感ボディに、
すべての高性能を高密度に一体化。いま、EOS 7が、あなたの撮影本能に感応する。



Canon EOS 7

●最速視線入力7点AF ●測距点がダイレクトに選択できる十字キーを装備 ●約4コマ/秒(動体予測・AIサーボAF時約3.5コマ)の高速連写 ●明快なスーパーインポーズや像消失時間の短い、キレイのいいファインダー ●測距点对应の35分割評価測光をはじめ、多彩な測光方式を搭載 ●ブラックアルマイト処理の金属外装を採用した、高質感ニューデザインボディ ●さらに静かになった、EOSならではのサイレント給送 ●ポップアップストロボ内蔵に加え、先進のE-TTL自動測光システムにも対応 ●ダイヤルおよびレバー類を中心とした直感的な操作系 ●視線入力搭載機で初めて視度調整機能を内蔵
メーカー希望小売価格 EOS 7ボディ……………¥93,000(税別) / EF28-105mm F3.5-4.5 II USM付き……………¥138,000(税別)
EF28-90mm F4-5.6 USM付き……………¥121,000(税別) ●EOS 7に関する製品情報は、下記のインターネットまたは、FAX情報サービス
をご利用ください。 〒108-8011 東京都港区三田3-12-15東急三田ビル キヤノン販売株式会社 キヤン株式会社・キヤン販売株式会社

最速視線入力7点AFをはじめ、すべての高性能がハイレスポンスへと結実。

●EOS 7に関する詳しい製品情報はURLにアクセスいただくか、次のFAX情報サービス(製品情報BOX番号28105)へ、どうぞ。

<http://www.canon-sales.co.jp/7/>

●FAX情報サービス 東京 03-3455-5962 札幌 011-728-0485 秋田 018-826-0441 仙台 022-211-5730
名古屋 052-936-0758 大阪 06-4795-9011 広島 082-240-6729 高松 087-826-1621 福岡 092-411-9510

KITAMURA INFORMATION

カメラのキタムラ
「第10回 全国秋の彩フォトコンテスト」
作品大募集!!

フォトコンのお知らせ

今年もキタムラ「全国秋の彩フォトコンテスト」を開催いたします。紅葉をはじめ、あなたの見つけた日本の「秋の彩」を大募集。傑作・力作をふるってご応募ください。

募集期間 9月20日(木)～12月20日(木)
カメラのキタムラ店頭または事務局必着

賞金・賞品総額 550万円

※詳しくは、9月上旬よりカメラのキタムラ店頭に設置される応募用紙またはポスターをご覧ください。

フォトコンのお知らせ
よみうり風景写真コンテスト2001
ニッポンを歩こう、心の風景を撮ろう。皆さまの作品が本になります。

カメラのキタムラでは、読売新聞社主催「よみうり風景写真コンテスト2001」に特別協力社として参加、皆さまの作品を募集しています!

締切り 9月30日(日)

主催:読売新聞社 後援:(財)休暇村協会・(財)厚生年金事業振興団
特別協力:カメラのキタムラ 特別協賛:富士写真フイルム
協力:旅行読売出版社

※詳しくは、店頭のポスター・チラシをご覧ください。

フォトコンテスト専門マガジン
「フォトコンライフ7号」発売!

フォトコンライフ7号は、創刊一周年記念特別号。一流写真家が応募作品にもれなくアドバイスをさしあげる「無料プライベートレッスン」、海外ツアーやカメラ・レンズが当たる「記念ビッグプレゼント」、巻末付録「絶景!紅葉撮影地ガイド」など豪華企画が盛りだくさん。特集「秋の彩」では、「第9回全国秋の彩フォトコンテスト」の全入選作品300点を一挙大公開。さらには誌上フォトコンテスト「第2回思い出の歌を写真にしよう」の入選作品も発表。発売予定日は9月20日。充実の特別企画が満載、増ページでお贈りします。

A4変型判/オールカラー/160ページ
定価 1,143円(税別) 発行:双葉社

お手持ちのカメラやレンズを、
高価下取り・
買い取り
いたします。

詳しくは、お近くのカメラのキタムラまでお問い合わせください。

楽しい情報満載!!カメラのキタムラホームページへ今すぐアクセス!!

あなたの写真生活応援サイト What's New!
kitamura.co.jp

撮る!見る!買う!知る!仲間ができる!

- お買い物【中古ネット販売】
- 旬の撮影ポイント!
- Weekly Pick-up!【最新商品情報】
- 写真教室

デジカメで撮ったら、カメラのキタムラへ!

デジカメからプリント
すぐできます。

1 デジカメで撮影したら
2 メディアをキタムラへお持ち下さい
3 美しいカラープリントがすぐできます

キタムラ全店で おまかせしません

アシオンポイントアドバイス
最高画質のプリントを得るには、お使いのデジタルカメラの画質(ピクセル)設定を高画質に設定してください。
低解像度や高圧縮率に設定された場合、「高画質プリント」のために必要な情報量が不足し、画質が悪くなる場合がありますのでご注意ください。

プレゼントが当たる! クロスワードパズル

| | | | | | |
|----|---|----|---|---|----|
| 1 | シ | 2 | モ | 4 | ム |
| ラ | | 5 | ジ | | シ |
| 7 | カ | | | 9 | タ |
| 10 | マ | | レ | | 11 |
| | | 13 | ホ | リ | ウ |

タテのカギ
1 もち米の粉から作った団ごのこ。
2 観客席から飛ぶものといえば?
3 写真は写真でも、犯人の指名手記に使われるものは?
4 「叫び」で有名な画家といえば?
5 イチローと並び、今季大リーグで活躍の日本人野手。
6 「寄り合い」や「集まり」のこと。
7 ことわざで「○○より育ち」などと言いますよね。

横のカギ
1 焼いて食べる「子持ち」の魚といえば?
2 車で人にケガをさせたら○○○事故になります。
3 能ある○○は爪を隠す。
4 燃料や水を貯蔵しておくところ。
5 飛行機を利用すると、貯まるものは?
6 可愛がっているペットなどに「移る」もの。
7 柿食えば、鐘が鳴るなり…。

答え=○○○○○
ヒント:お月見とは、風流ですネ

問題:クロスワードに答えて、A～Eのマスをつなぐとある言葉になります。その答えとあなたの住所・氏名・年齢・職業をハガキに書いてご応募ください。正解者の中から抽選で30名の方に、粗品を進呈いたします。
あて先:〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1カメラのキタムラ「フォトライフ四季クロスワードパズル」係
締め切り:11月30日(当日消印有効)

クロスワードパズル(Vol.36) 解答とご当選者 解答:「ハルノハナ」
遠藤義郎(北海道)、古川さやか(青森県)、田中稔(青森県)、高橋味佑(秋田県)、井越恵美(山形県)、菅野英子(千葉県)、天野栄一(千葉県)、吉村喜七郎(埼玉県)、菅井武治郎(埼玉県)、高橋保(神奈川県)、渋谷美奈子(富山県)、藤木幹久(石川県)、櫻橋勝隆(岐阜県)、池田名加代(静岡県)、宮崎貞夫(静岡県)、大沢鉄雄(愛知県)、福田純也(大阪府)、竹内美智子(兵庫県)、先崎良昭(兵庫県)、森盛明久(島根県)、藤原快一(岡山県)、立古竜雄(岡山県)、保岡幸代(徳島県)、種田栄(高知県)、岡本厚美(愛媛県)、小倉伸昭(福岡県)、羽野芳和(福岡県)、高原和広(長崎県)、寺本幾久生(熊本県)、橋本有浩(大分県) 敬称略



ズームカメラには、 ズームマスター800

世界最高のシャープネス

※感度ISO800製品の中で平成12年6月1日現在当社調べ

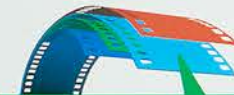


ズームカメラに
最適な高感度
FUJICOLOR
SUPERIA 800
ズームマスター



世界初、APSで
ISO800の高感度
FUJICOLOR
nexia 800
ズームマスター

※平成12年6月1日現在当社調べ



フィルム選びのポイント
第4の感色層

速い動きも
ブレずにピタリ

フラッシュなしでも
手ブレが少ない

手前から奥まで
ピントくっきり

暗い場所でも
明るく撮れる